

平成 29 年度
事業報告書

公益財団法人 静岡県産業振興財団

目 次

概 要	1
公 1 産業創出支援	5
1 創業者成長支援事業	5
2 創業者市町等支援事業	7
3 新成長産業戦略的育成事業	8
4 静岡型航空産業育成事業	12
5 農商工連携支援事業	13
6 創業資金等支援事業	14
7 地域需要創造型等起業・創業促進事業	14
公 2 経営基盤強化	15
1 中小企業支援センター事業	15
2 下請振興等事業	17
3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業	20
4 中小企業 I o T活用促進事業	22
5 ふじのくにCNFプロジェクト推進事業	24
6 販売戦略支援ワンストップセンター準備事業	24
7 事業承継ネットワーク事務局運営事業	25
8 高度化資金貸付診断等事業	25
9 経営革新計画支援事業	26
10 設備貸与事業	27
11 中小企業振興貸与事業	28
12 設備資金貸付事業	29
公 3 科学技術研究開発支援	29
1 地域活性化支援事業	29
2 地域活性化支援事業助成企業支援事業	30
3 基本財産単独地域活性化支援事業	31
4 産学官技術交流促進事業	31
5 戦略的基盤技術高度化支援事業	33
公 4 フーズ・サイエンスプロジェクト	33
1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	33
2 高付加価値型食品等開発推進事業	37
3 産業人材育成事業	38
公 5 ファルマバレープロジェクト	39
1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業	39
2 先進医薬普及促進事業	41
3 富士山麓ビジネスマッチング促進事業	42
4 医工連携事業化推進事業	42
5 静岡がん治験ネットワーク推進事業	43
6 地域イノベーション戦略支援プログラム	43
収 1 ファルマバレープロジェクト	45
1 創薬探索研究事業	45
2 臨床研究推進事業	45

3	治験審査委員会運営事業	46
4	静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業	46

平成 29 年度 事業 報 告

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

< 概 要 >

平成 29 年度の我が国経済をみると、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いた。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。政府は、持続的な経済成長の実現に向け、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定した。

雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復していくことが見込まれる。

県内の経済状況に目を移すと、景気の回復を反映して、賃上げが進んでおり、天候不順で価格が高騰した生鮮品も 3 月以降、温暖な日が続き生産量が回復、観光地も賑わった。今後は、世界的な景気拡大傾向を受けて工作機械など輸出型製造業の生産量が増加していくとみられ、また、好天が予想されることから観光・レジャー需要の盛り上がり期待される。ただし、米国の金利引上げ以降、金融市場では荒い動きが続き、為替相場には警戒が必要となっている。

静岡県では、実効性のある施策展開により、静岡県経済の持続的な成長を図っていくため、これまでの産業成長戦略の 4 つの戦略に、「産業人材の確保・育成」を新たな戦略の柱に加えた産業成長戦略 2018 を策定した。

このような状況の中、当財団では、他の産業支援機関との連携を強化して事業を進めることとし、平成 29 年度の重点的取組として、創業者の成長支援、中小企業の新成長分野への参入促進のための支援や現場における経営改善活動を促進するための人材育成を実施した。販路開拓支援においては、下請受注の確保、展示会への出展支援を実施した。また、静岡県 IoT 活用研究会の運営等、次世代産業の創出を目指す取組を強化した。また、中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを構築した。併せて県の新産業クラスター政策の一翼を担う「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」及び「ファルマバレープロジェクト」への取組を一層推進するなど、事業は概ね計画どおり実施した。

< 事業総括 >

平成 29 年度の実施事業は、別図のとおりであるが、このうち、新成長分野や県の新産業集積クラスター関連など、当財団が 29 年度に特に重点的に取り組んだ事業は、次のとおりである。

(1) 創業者成長支援事業

事業規模の拡大や、全国・海外への展開を目指すスタートアップ期（創業から 5 年程度）の創業者を対象に、関係支援機関と連携し、経営者等からの先を見据えた視点での助言を元に成長軌道に乗せるまでの支援を行った。

- (2) 新成長産業戦略的育成事業
新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援した。
助成事業では、成長産業分野に関連する自社の研究開発成果を活用して、製品化及びその事業化に取り組む活動や航空機産業参入条件になっている認証取得に係る経費を助成した。
支援事業では、セミナー、技術研修会、展示会出展支援等に加え、福祉・介護機器スタートアップ支援のため、試作開発の委託を行い、試作開発製品の発表会を実施した。
- (3) 専門家派遣事業
創業支援、中小企業の経営基盤向上及び新分野進出等を支援するため、経営・情報・技術・デザイン・ISO等の専門家を派遣し、助言を行った。
- (4) 展示会出展支援事業
首都圏で開催され大規模な集客が見込まれる専門展示会の「機械要素技術展」へ静岡県ブースとして出展し、販路開拓を支援、また(株)デンソー本社で県内中小企業等の技術や工法を提案する展示商談会を開催した。
- (5) しずおかものづくり革新インストラクタースクール実施事業
(一社)ものづくり改善ネットワークと連携し、産業支援機関のコーディネーターや企業の現場管理者等を対象に「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を開催し、現場における経営改善活動を指導できる人材を養成した。また、養成したインストラクターを中小企業に派遣し、生産現場の改善を支援した。
- (6) 中小企業IoT活用支援事業
静岡県IoT活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業におけるIoTの利活用を促進することにより、新たな企業連携・産学官連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。
- (7) 事業承継ネットワーク事務局運営事業
中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを強化した。
- (8) 経営革新計画支援事業
中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談、申請受付、調査等を、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、金融機関等と連携して実施した。
この結果、過去最多の575件の新規承認がなされた。
- (9) 地域活性化支援事業
地域活性化基金(90億円：平成19年度設置)の運用益で、新技術・新製品等の研究開発のための取組や異業種連携、地域密着ビジネスなど、幅広く地域経済に寄与できる事業を支援した。なお、本事業は、平成29年度が最終事業年度である。
- (10) 産学官技術交流促進事業
県内中小企業が、大手企業の保有する開放特許を活用した新事業展開を図ることを目的に、「知的財産マッチングin浜松」や大学連携による「開放特許を活用したビジネスプランコンテスト」を開催した。

(11) フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画に基づき、食の機能性に関する情報を収集・発信するとともに、静岡県立大学と連携し、機能性食品にかかるヒト介入試験・システムティックレビューの実施体制を整備した。

(12) 高付加価値型食品等開発推進事業

機能性食品など高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援を行うとともに、食品関連企業等が共同して取り組む食品等開発研究会5部会の運営を支援した。

(13) 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業

医療・介護現場のニーズを製品化に結びつけるため、ファルマバレーセンターを中心にアドバイザーを活用した共同研究や医工連携による研究開発の推進、各種交流会や医療機器等テーマ実現化検討会を通じ産学官の交流推進や産業化を支援した。

(14) 地域イノベーション戦略支援プログラム

「革新的ながん治療技術の開発と地域企業の医療健康産業参入支援による医療健康産業クラスターの形成」をテーマに、大学等のシーズ調査、地域企業の技術調査、医療現場のニーズ収集、共同研究のコーディネート、研究成果の事業化支援等を展開し、国内外への販路開拓を推進した。なお、本事業は、平成29年度が最終事業年度である。

(15) 静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業

ファルマバレープロジェクトの拠点となる「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理者として、施設管理、入居者支援、連携・交流、貸館、広報等の業務を行った。

< 決算総括 >

平成29年度の経常収益（事業規模）は、公益目的事業、収益目的事業及び法人会計合わせて1,362,385千円となり、前年度の1,456,803千円に対して94,417千円の減少となった。

経常費用は、1,524,757千円で前年度の1,551,017千円に対して26,260千円の減少であった。

平成29年度の収益・費用の増減要因としては、収益としては、ファルマバレーセンター事業の事業終了に伴う臨床研究推進基金の取崩の実施、期中に地域活性化基金を活用した事業終了に伴い特定資産受取利息が半減、設備貸与事業に係る事業収益の減少、地域中核企業創出・支援事業の受託に伴う受取国受託金の増加、臨床研究推進事業の受取団体受託金の減少、専門家派遣事業の派遣回数増による負担金の増加、費用としては、人件費の減少、設備貸与事業に係る事業費用の減少、専門家派遣事業の派遣回数増に係る謝金の増加、医療健康産業研究開発センター管理事業に係る水道光熱費の増加、臨床研究推進事業に係る委託費の減少、地域活性化基金を活用した事業の最終年度による返還金の発生などが挙げられる。これらのことから、当期経常増減額は、マイナス162,372千円と、前年度に比べて68,157千円のマイナスとなった。

当期経常外増減額は、プラス10,477千円と、前年度に比べて1,660千円減少した。このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた額から「法人税、住民税及び事業税」を引いた当期一般正味財産増減額は、マイナス152,015千円と、前年度のマイナス82,076千円に比べてマイナス69,818千円となった。

平成29年度事業一覧(決算額)

単位:千円

I 公益目的事業	1,276,822					
公1 産業創出支援	273,499	総合支援	1 創業者成長支援事業	23,624		
			2 創業者市町等支援事業	1,836		
		新分野開拓	3 新成長産業戦略的育成事業	190,295		
			4 静岡県航空産業育成事業	30,608		
			5 農商工連携支援事業	17,394		
		創業資金支援	6 創業資金等支援事業	4,411		
			7 地域需要創造型等起業・創業促進事業	1,358		
			共通経費	3,974		
		公2 経営基盤強化	359,098	経営支援	1 中小企業支援センター事業	69,395
					2 下請振興等事業	66,337
					3 静岡ものづくり革新インストラクターズスクール実施事業	18,087
					4 中小企業IoT活用促進事業	4,527
					5 ふじのくにCNFプロジェクト推進事業	8,396
6 販売戦略支援ワンストップセンター準備事業	1,500					
7 事業承継ネットワーク事務局運営事業	2,999					
経営等診断	8 高度化資金貸付診断等事業			18,701		
	9 経営革新計画支援事業			28,940		
設備支援	10 設備貸与事業			119,156		
	11 中小企業販興貸与事業			2,011		
	12 設備資金貸付事業			7,542		
	共通経費	11,506				
公3 科学技術研究開発支援	275,756	1 地域活性化支援事業	185,567			
		2 地域活性化支援事業助成企業支援事業	1,350			
		3 基本財産単独地域活性化支援事業	10,230			
		4 産学官技術交流促進事業	23,116			
		5 戦略的基盤技術高度化支援事業	51,937			
		共通経費	3,556			
公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト	90,698	1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	70,293			
		2 高付加価値型食品等開発推進事業	10,377			
		3 産業人材育成事業	2,613			
		共通経費	7,415			
公5 ファルマレープロジェクト	273,367	1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業	113,092			
		2 先進医薬普及促進事業	27,359			
		3 富士山麓ビジネスマッチング促進事業	12,546			
		4 医工連携事業化推進事業	42,907			
		5 静岡がん治験ネットワーク推進事業	5,391			
		6 地域イノベーション戦略支援プログラム	65,053			
		共通経費	7,020			
	公益目的事業共通経費	4,403				
II 収益目的事業	228,265					
収1 ファルマレープロジェクト	228,265	1 創薬探索研究事業	36,885			
		2 臨床研究推進事業	16,421			
		3 治験審査委員会運営事業	49,953			
		4 医療健康産業研究開発センター管理事業	120,403			
		共通経費	4,602			
	収益目的事業共通経費	0				
III 法人会計	21,020					
内部取引消去	△ 1,350					
全体事業費	1,524,757					

*各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業及び収益事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

I 公益目的事業

() 内は前年度正味財産増減計算書額

事業費 1,276,822 千円 (1,262,745 千円)

公1 産業創出支援

事業費 273,499 千円 (308,790 千円)

創業者、ベンチャー企業、新事業に挑戦する企業等の多様な経営課題に対する相談・指導、新事業の展開へ向けた資金調達支援、販路開拓の支援、新分野開拓への支援等、新たな産業創出を支援する事業を行った。

1 創業者成長支援事業

事業費 23,623,873 円

規模拡大、全国・海外への展開を目指すスタートアップ期（創業から5年程度）の創業者を対象に、関係支援機関と連携し、経営者等からの先を見据えた視点での助言を元に成長軌道に乗せるまでの支援を行った。

■参加者評価 (5点満点・平均点)

1 提供した支援内容全般	: 3.9 点	2 財団スタッフの運営・サポート	: 4.5 点
3 事業協力者の運営・サポート	: 4.4 点	4 全体的な満足度	: 4.1 点

(1) メンターチームサポート事業

1社につき3名の先輩起業家等(11名)をメンターに委嘱し、創業者が策定した事業計画や経営課題等に対し、経営者目線による助言を行う「メンターアドバイス会議」を開催した。

○ メンターアドバイス会議 8回開催 (参加者各社に対して1回)

開催日	時間	参加者名	メンター名	会社名・役職
H29.10.10	13:30 ~ 14:30	日本パワーテクノ	杉本 一成	東海電子(株) 代表取締役
			古谷 博義	(株)ウエルビーフードシステム 代表取締役
			高柳 眞	(株)TRINC 代表取締役社長
	15:00 ~ 16:00	(株) イージス テクノロジーズ	杉本 一成	東海電子(株) 代表取締役
			三浦 曜	(株)アメリオ 代表取締役
			増田 正寿	インフィック(株) 代表取締役社長
H29.10.16	11:00 ~ 12:00	Global Jam	植田 伸司	ティーライフ(株) 代表取締役社長
			渡邊 一博	(株)こころ 代表取締役社長
			佐藤 真琴	(株)PEER 代表取締役社長
	13:30 ~ 14:30	オフィスサエコ	植田 伸司	ティーライフ(株) 代表取締役社長
			渡邊 一博	(株)こころ 代表取締役社長
			佐藤 真琴	(株)PEER 代表取締役社長
	15:00 ~ 16:00	TERACOM(株)	松田 敏孝	(株)サンロフト 代表取締役社長
			増田 正寿	インフィック(株) 代表取締役社長
			佐藤 真琴	(株)PEER 代表取締役社長
H29.10.17	13:30 ~ 14:30	(株)イーブレイン	松田 敏孝	(株)サンロフト 代表取締役社長
			杉本 一成	東海電子(株) 代表取締役
			青木 邦章	(株)スペースクリエイション 代表取締役
H29.10.18	11:00 ~ 12:00	(株)アモーガ イメージング	青山 聡	(株)ブルックマンテクノロジ 代表取締役社長
			三浦 曜	(株)アメリオ 代表取締役
			増田 正寿	インフィック(株) 代表取締役社長
	13:30 ~ 14:30	Juno Re(株)	渡邊 一博	(株)こころ 代表取締役社長
			高柳 眞	(株)TRINC 代表取締役社長
			青山 聡	(株)ブルックマンテクノロジ 代表取締役社長

■「メンターアドバイス会議」参加者評価: 3.9 点 (5点満点・平均点)

(2) マッチングサポート事業

ビジネスマッチングを目的として、「ビジネスプラン発表会」を開催した。また、参加者のプレゼンテーション資料作成及び発表準備を目的とした個別支援を16回実施した。

併せて、市場調査を目的として、東京ビッグサイトで開催された「産業交流展 2017」への出展支援を、希望する参加者に対して行った。

○ プレゼンテーション資料作成及び発表支援 16回

参加者名	プレゼンテーション 作成支援実施日	プレゼンテーション 発表支援実施日
Juno Re(株)	H30. 2. 16	H30. 3. 13
(株)イーブレイン	H30. 2. 16	H30. 3. 14
TERACOM(株)	H30. 2. 1	H30. 3. 14
Global Jam(株)	H30. 2. 7	H30. 3. 15
オフィスサエコ	H30. 2. 7	H30. 3. 13
日本パワーテクノ(株)	H30. 2. 5	H30. 3. 13
(株)アモーガイメージング	H30. 2. 2	H30. 3. 14
(株)イージステクノロジーズ	H30. 2. 5	H30. 3. 14

○ 「ビジネスプラン発表会」開催回数 1回

開催日	登壇者	ビジネスプラン名	聴講者	会場
H30. 3. 19	JunoRe (株)	貸貸管理プラットフォーム の提供とその運営	48名	有限責任監査法人 トーマツ静岡事務所 セミナールーム (静岡市)
	(株)イーブレイン	No Plan No Life ～人生に計画はつきものである～		
	TERACOM(株)	知識を力に変える ～人材育成を 通じてエンジニアの価値向上～		
	Global Jam(株)	英語 de おもてなし ～日本のおもてなしを、世界に～		
	オフィスサエコ	心に刻む体験と味わい ～日本酒シーンの創造へ		
	日本パワーテクノ(株)	水素×農業で 世界一安心安全な農作物		
	(株)アモーガ イメージング	人の代わりになる 視覚機能を産業に提供		
	(株)イージス テクノロジーズ	汎用ポジショニングセンサを利用 した『道路状況の高精度監視技術 開発』及び『自動運転技術におけ る走行位置補正情報提供』の研究		
<p>■ 「ビジネスプラン発表会」参加者評価：4.0点（5点満点・平均点） 聴講者評価：「満足」57.6%（33通アンケート回収）</p>				

○ 産業交流展2017への出展支援 延べ6社

参加日	出展者
H29. 11. 15	・ Global Jam(株) ・ TERACOM(株)
H29. 11. 16	・ Global Jam(株) ・ (株)イーブレイン
H29. 11. 17	・ Global Jam(株) ・ 日本パワーテクノ(株)

(3) 起業家ミーティング開催事業

創業者が抱える共通課題を解決するため、事業協力者である有限責任監査法人トーマツ静岡事務所担当者が講師となって、集合研修（座学・グループディスカッション・発表）を行った。

○ 起業家ミーティング実施回数 5回

開催日	テーマ	講師	参加者	会場
H29. 11. 9	ビジョン	有限責任監査法人 トーマツ静岡事務所 担当者	6名	有限責任監査法人 トーマツ静岡事務所 セミナールーム (静岡市)
H29. 11. 30	事業環境分析（SWOT分析）		5名	
H29. 12. 20	戦略策定（アクションプラン）		6名	
H30. 1. 18	数値化（事業計画）		5名	
H30. 2. 20	プレゼン実習		7名	
<p>■ 「起業家ミーティング」参加者評価：3.8点（5点満点・平均点）</p>				

(4) 創業相談事業

上記（1）～（3）の事業参加者の事業実施効果を高めるため、事業計画策定等の個別支援を実施した。

○ 個別指導・相談実施回数 延べ36回

個別指導・相談内容	個別指導・相談実施回数
参加者に対する事前ヒアリング	8回
メンターアドバイス会議に係る課題整理	16回
展示会出展に係る相談対応	1回
事業計画策定に関する相談	8回
ビジネスプランコンテスト審査会に対応するプレゼン個別指導	1回
弁護士無料相談及びその事前整理	2回
計	36回
■「個別指導・相談」参加者評価：4.3点（5点満点・平均点）	

2 創業者市町等支援事業

事業費1,836,192円

創業支援のノウハウ等の少ない県内市町等をサポートし、県内の創業環境の向上を図るため、支援能力向上を目的とした研修会や県内各市町が実施する創業セミナーや創業相談会等の支援を行った。

(1) 創業支援機関ネットワーク会議事業

県内創業支援機関相互の連携強化のため、「創業支援機関ネットワーク会議」を、東部・中部・西部・伊豆の各地区で開催した。

○ 創業支援機関ネットワーク会議 開催回数4回

東部	開催日時	H29. 7. 4 13:30～16:00
	会場	沼津大手町商店街振興組合さんさんホール（沼津市）
	出席者数	29機関 43名（市町11名、商工会議所等12名、金融機関6名、全県支援機関14名）
中部	開催日時	H29. 6. 28 13:30～16:00
	会場	静岡県産業経済会館3階 第1会議室（静岡市）
	出席者数	31機関 43名（市町11名、商工会議所等8名、金融機関7名、全県支援機関17名）
西部	開催日時	H29. 6. 30 13:30～16:00
	会場	アクトシティ浜松 研修交流センター 51研修交流室（浜松市）
	出席者数	21機関 29名（市町5名、商工会議所等8名、金融機関3名、全県支援機関13名）
伊豆	開催日時	H29. 7. 7 13:30～16:00
	会場	静岡県下田総合庁舎 第1会議室（下田市）
	出席者数	12機関 17名（市町2名、商工会議所等4名、金融機関1名、全県支援機関10名）

(2) 創業支援担当者研修事業

各市町、商工団体、金融機関等の創業支援担当職員を対象にし、創業相談に係る知識習得を目的とする研修会を、東部・中部・西部の各地区で開催した。

○ 創業支援担当者研修 開催回数9回（3地区×3回開催）

東部	開催日時	①H29. 11. 1 13:40～16:45 ②H29. 11. 22 13:40～16:45 ③H29. 12. 13 13:40～16:45	【テーマ】 ①伴走力 ②助言力 ③管制力
	会場	沼津大手町商店街振興組合さんさんホール（沼津市）	
	出席者数	17機関 17名 （市町8名、商工会議所等4名、金融機関2名、全県支援機関3名）	
中部	開催日時	①H29. 10. 30 13:40～16:45 ②H29. 11. 20 13:40～16:45 ③H29. 12. 11 13:40～16:45	【講師】 （株）ハーモニーリンク 馬込 正氏
	会場	静岡県産業経済会館3階 特別会議室（静岡市）	
	出席者数	14機関 14名 （市町4名、商工会議所等8名、金融機関0名、全県支援機関2名）	

西部	開催日時	①H29. 10. 31 13:40～16:45 ②H29. 11. 21 13:40～16:45 ③H29. 12. 12 13:40～16:45	
	会場	アクトシティ浜松 研修交流センター 402号室 (浜松市)	
	出席者数	15機関 16名 (市町5名、商工会議所等6名、金融機関3名、全県支援機関2名)	
■参加者評価 (5点満点・平均点) 東部地区：4.8点 中部地区：5.0点 西部地区：5.0点 全県平均：4.9点			

(3) 市町個別支援事業

各市町等の創業支援機関が実施する創業セミナー及び創業相談会の実施方法に関するアドバイスの他、財団職員をセミナー講師や相談員として派遣するなど、各市町の創業支援施策実施に関する支援を行った。

○ 市町個別支援回数 148回

相談内容	件数
情報交換	100
支援機関会議等出席	17
打ち合わせ	14
事業者個別相談	7
支援施策相談	7
講師等派遣	3
計	148

(4) 創業施策情報提供事業

一元的な情報発信によるワンストップサービスを提供するため、支援施策情報等をホームページ、メールマガジンで配信した。

- | |
|--------------------------------------|
| ○ 財団専用ホームページによる情報発信(アクセス数) 59,552回 |
| ○ メールマガジン発行 24回 延べ54,881人 (2,286人/回) |

3 新成長産業戦略的育成事業

事業費190,294,718円

本県経済の持続的な発展のため、成長が見込まれる産業分野の拡大を図り、国内外の経済情勢の変化を受けにくい多極的な産業構造の形成を目指し、今後の成長が期待される産業分野(新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への、中小企業の参入支援をより一層加速させるとともに、事業化や販路開拓支援にも重点的に取り組んだ。新たな成長産業分野への参入を目指す中小企業に対し、技術相談から研究開発、事業化・販路開拓まで一貫した支援に取り組む事業を行った。

H21～24年度は、中小企業成長基盤強化事業において成長産業分野(医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への中小企業の参入支援に取り組み、研究・試作品開発への助成を実施した。その後、H25年度からは製品化や販路開拓など事業化支援を中心に取り組んだ。また、新たな成長産業を戦略的に育成するため、企業の参入意欲や市場ニーズが高い「次世代自動車」や「新エネルギー」の分野で「事業化」に軸足を移した支援に取り組んだ。

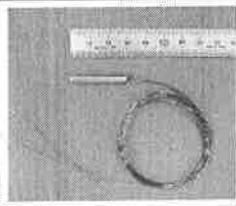
展示会への出展などにおいて、金融機関の積極的な参画を促す「産学官金」の連携体制を構築し、効果的な事業実施を図った。

(1) 新成長産業助成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援するため、研究開発、事業化推進への活動に対して助成した。

<事業化推進助成>

中小企業及び大企業が、成長産業分野に関連する自社の研究開発成果を活用して、製品化及びその事業化に取り組む活動に助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)	
事業化推進助成 助成件数 11件 (中小企業 10件、 大企業 1件) 確定金額 117,898千円	セルローズナノファイバーの濃縮(乾燥)装置の開発と販路開拓 CNF分散液の濃縮(乾燥)に、自社のマイクロ波減圧乾燥機の技術を活用した「計量型マイクロ波減圧乾燥装置」を開発した。CNFの分散性を維持したまま濃縮できる装置はこれまでになく、この装置により、CNFによる新素材の開発や、CNF素材の保存や輸送コストの削減などに大いに貢献できる。 今後は、CNFを薄いシート状にして濃縮する量産型実用機を開発していく。	
	高温空気燃焼技術を用いた高効率低NOxバーナーの事業化 次世代のMRIに用いられることを想定した極低温用測温抵抗体の開発に取り組んだ結果、目標とする性能・特徴を満たす極低温用測温抵抗体を開発することできた。具体的には、冷却開始から約2時間で約2.1~2.6Kまで冷却が可能となった。また、30分間たっても変化が±15mK以内で非常に安定したものができた。 今後は、販売に向けた準備を進め、H30年夏頃の上市を目指す。	

<これまでの成果>

助成金名	助成件数 (累計)	調査時期	商品化件数	販売実績のある企業数	販売金額	知財等 取得件数
中小企業成長 基盤強化事業助成金 (H22~H24)	67社	H27. 4 67社	18社	17社 (試作品 販売含む)	263,369千円	12件 (出願件数)
新成長産業 研究開発助成金 (H25~)	69社	H29. 4 49社 (H27年度 助成まで)	12社	11社 (試作品 販売含む)	1,246,940千円	7件 (出願件数)

<航空機産業認証取得助成>

航空機産業参入条件になっている品質マネジメントシステム規格「JIS Q 9100」や国際特殊工程認証システム「Nadcap」の認証取得にかかる経費を助成した。

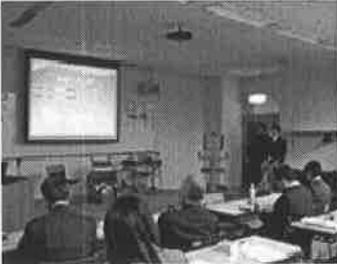
事業名・実績	助成例
航空機産業認証取得助成 ・H27年度指定件数 4件 ・H28年度認証取得件数 3件 ・H28年度指定件数 2件 ・H29年度認証取得件数 2件 ・H29年度指定件数 2件 (内1社はH29年度中に認証取得)	JIS Q 9100、Nadcap H28年度に指定した2社のうち1社は辞退した。H28年度指定の1社と、H29年度に指定をして1年間で取得をした会社の、合わせて2社に対し助成を行った。(JIS Q 9100: 2社、Nadcap: 1社) H29年度は2社を指定した(JIS Q 9100: 2社)。1社は上記記載のとおり認証を取得した。残り1社について、次年度に認証を取得し助成を行う予定。

(2) 新成長産業支援事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ、県内中小企業が参入することを支援するため、ビジネスマッチング、啓蒙・啓発、人材育成、販路開拓、調査・研究、試作・実証試験への支援事業を行った。

国の新成長戦略において戦略分野の一つにも位置付けられ、県内中小企業が培ってきた技術を活用できる分野として期待されている環境産業分野において、製品開発を目指して試作品の製作や実証試験に取り組む中小企業者に対して販路開拓のための出展支援、商談会の開催を行った。

県の現在の基幹産業の一つである輸送用機器製造産業を持続的に発展させて、「次世代自動車産業」として確立することを支援するために、技術研修会の開催、展示会への出展支援、大手自動車メーカーとの技術マッチング会の開催を行うとともに、これまでに培ってきた技術を活用して新たな製品開発を目指す中小企業者を支援した。

分野	セミナーの開催等	展示会への出展	マッチング
次世代自動車	<p>次世代自動車 中核人材育成講座</p> <p>① 「新動向セミナー」 H29. 11. 20 あざれあ、80名/54社</p> <p>② 「設計シミュレーション実習」 H30. 1. 16 浜松工業技術支援センター、20名/20社</p> <p>③ 「要素技術研究講座」 H30. 1. 30、2. 9 浜松工業技術支援センター、37名/26社</p>	<p>「人とくるまのテクノロジー展2017」出展(H29. 5. 24～26、パシフィコ横浜、出展13社、成約金額44,866千円【6ヶ月後】)</p>  <p>第15回全日本学生フォーミュラ大会出展(H29. 9. 5～9、エコパスタジアム、出展6社)</p> 	<p>次世代自動車コーディネーター配置(財団所属)</p>
医療・福祉機器	<p>医療機器分野新規参入 アドバイス事業 (H29. 5～H30. 3、全10回 16社)</p> <p>医工連携スタートアップ支援事業(委託) (採択件数5社)</p> <p>福祉・介護機器 試作開発製品発表会 (H30. 1. 19、あざれあ、43名)</p> 	<p>第44回国際福祉機器展 H.C.R. 2017出展(H29. 9. 27～29、東京ビッグサイト、出展7社、成約金額 2,899千円【6ヶ月後】)</p>  <p>医工連携 出合いのサロン(委託)(第28回日本間脳下垂体腫瘍学会に出展、H30. 2. 9～10、アクトシティ浜松コンgresセンター、出展5社)</p> <p>MEDTEC Japan 2017出展(会期：H29. 4. 19～21、東京ビッグサイト、出展12社・機関、成約金額1,920千円【6か月後】)</p>  <p>MEDTEC Japan 2018出展者募集 出展12社・機関決定</p>	<p>医薬品・医療機器等法に基づくQMS整備と運用に精通する人材育成に取り組み地域企業を支援した。</p> <p>・専門家派遣企業 4社</p> <p>福祉・介護機器コーディネーター配置(財団所属)</p> <p>福祉・介護機器スタートアップ支援事業(試作開発委託：6課題、5社、アドバイザー派遣：5課題、4名、派遣日数11日、試作開発製品発表会：H30. 1. 19、43名)</p>

<p>医療・福祉機器</p>		<p>アンチエイジングジャパンへの出展支援（会期：H29. 9. 11～13、東京ビックサイト、出展：10社、成約金額：327万円【6か月後】）</p> 	
<p>ロボット</p>	<p>ロボット活用による先進ものづくり人材の育成(委託) ロボット体験教室（H29. 5.20、6.10、10.21、延べ81名） ロボット実習教室（H29. 6.17、7.8、7.15、7.23、8.10、8.19、8.26、10.7、10.29、H30. 1.21、2.10、2.25 延べ66名） 電子工作教室（H29. 8.6、8.8、延べ40名） ロボットメーカー講習会（26名）</p> 		
<p>航空宇宙</p>	<p>航空宇宙中核人材育成事業(委託) (西部会場：7名、6社、講義 H29. 10.24、11.10、11.21、12.5、東部会場：7名、5社、講義 H29. 10.27、11.17、11.24、12.7、合同実習 H30. 3.8、3.9) 無人航空機セミナー（H29. 11.15、ホテルアソシア静岡、110名）</p> 	<p>エアロマート名古屋2017(委託) (H29. 9.27～28、名古屋市中小企業振興会館、出展5社、見積・図面検討等5件【6ヶ月後】)</p> 	<p>専門家(重工OB)によるマッチング支援(委託) 重工メーカー(三菱重工、IHI、多摩川精機等)訪問によるマッチング支援(H30. 2までの累計訪問件数67件)</p>

環境	—	—	<p>東南アジア環境ビジネス支援事業（委託）（①セミナー：H29.10.17、静岡県産業経済会館、22名 ②個別コンサルティング支援：8社、18回</p>  <p>静岡県・浙江省共同研究・コンソーシアム化準備推進事業（委託） ①打合せ会議H29.10.2、11.21、12.6、H30.1.16、場所：県庁 ②訪問調査H29.10.11～14、12.17～20、H30.1.21～24、場所：浙江省</p>
共通	<p>・ホームページの運営（閲覧者数 6,944名）</p> 		

<H28年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
人とくるまのテクノロジー展2016	H28.5.25～27	パシフィコ横浜	13社	1年後	9件	47,960千円
第43回国際福祉機器展	H28.10.12～14	東京ビッグサイト	8社	1年後	19件	901千円
第46回インターネプコンジヤパン	H29.1.18～20	東京ビッグサイト	8社	1年後	3件	5,550千円

4 静岡型航空産業育成事業

事業費30,607,982円

航空機産業における中小企業の受注活動の拡大や技術高度化を図るとともに、MRO（整備・修理・オーバーホール）分野、無人航空機分野への展開の可能性を検討し、関連産業の視野を広げることを目的とする。

○ 航空機産業の振興を図るため、地方創生推進交付金を活用し、以下の事業に取り組んだ。

分野	事業名	目的・内容	実施内容
有人航空機	航空機部品製造に必要な設備導入に要する経費に対する助成	<p>県内中小企業等が行う生産能力、加工能力の増強のための航空機部品製造に必要な設備投資を支援し、受注活動の拡大や技術の高度化を図る。</p> <p><限度額>15,000千円 <補助率>1/2 <助成件数>新規2件程度</p>	<p>助成件数 計2件 助成額 計30,000千円</p>

無人航空機	無人航空機産業推進協議会	無人航空機産業の振興を図るために、県内中小企業等を中心とする産学官による協議会を設置し、災害対応、漁業などの産業分野における無人航空機を活用したビジネスモデルを検討する。	<p><協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 H29. 7. 31 県開発機体の紹介等 ・第2回 H29. 11. 15 無人航空機セミナー ・第3回 H30. 2. 9 ワーキンググループ で議論された内容 についての報告等 <p><ワーキンググループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 H29. 9. 13 メンバーから提案された提案票の説明 ・第2回 H29. 10. 24 各用途の実現可能性 ・第3回 H29. 12. 12 無人機だからこそ出来ること（コスト・リスク） ・第4回 H30. 1. 25 議論された内容のまとめ
-------	--------------	---	---

5 農商工連携支援事業

事業費17,393,811円

地域産業の活性化を図るため、静岡県からの借入金(8.1億円)と当財団からの拠出金(1.9億円)により、H21年度にせずおか農商工連携基金(総額10億円)を造成した。基金の運用益を、中小企業者と農林漁業者が連携して行う新製品の開発・販路開拓への取り組みに対して助成した。

<事業実績>

事業名	件数	確定金額
新商品・新サービス開発事業	8件	9,265千円
販路開拓事業	4件	5,365千円
省エネルギー等対策事業	1件	2,000千円
計	13件	16,630千円

○ 助成例(抜粋)

新商品・新サービス開発事業 齋藤食品工業株式会社、野村農園

富士宮市内房産の筍を使った加工食品の開発

富士宮市内房(旧芝川町)地区は良質のタケノコの産地であるが、タケノコを特産品として維持することが重要な課題となっており、タケノコの根元部分がほとんど廃棄されるため、その処理が問題となっていた。この事業では、廃棄される根元部分も使いながら「タケノコラー油」の開発を行い、社内及び生産者の意見を踏まえながら味の調整を行って最終的に3種類の味の試作品を開発した。さらに展示会に出展し、試作品に対する意見調査および商談を行った。今後は、展示会で商談を行った相手に対し、販売のための活動を実施する予定。



販路開拓事業 カネジユウ農園(株)、(株)メソッド

新パッケージによる新しいお茶の流通開拓

最近ではお茶専門店が激減し、お買い得感や価格でしか価値を見出せなくなり、低価格帯のお茶が主流になっていることが課題となっている。当該事業では、一番茶に柑橘をブレンドする新しい味わいの茶葉を開発。また、現行のパッケージを見直し、デザイン性の高い差別化された商品デザイン、消費者にわかりやすく手に取りやすい商品デザインパッケージを開発した。また、開発した新商品の試飲会とパッケージ評価のため都内などで開催された様々な展示会に出展した。目的とした商品が完成したためH30.4以降取引先にて販売を開始していく予定。また、展示会等で出会ったお客様に対してもアプローチを行っていく。



リサイクル燃料を使った温水消毒ボイラーシステムの開発

農業用軟質ビニールハウスのシート廃棄物と硬質プラスチック廃棄物を混合してペレット化し、カロリーを調整した固形燃料を開発した。また、温風及び熱水製造を同時に製造できるボイラーを設計・試作を行い、消毒に必要な熱水ができる装置の開発に成功した。

今回の開発により、これまで廃棄していたビニールハウスのシートを燃料として有効利用できるようになり、この燃料をボイラーで燃焼することによって、ビニールハウスの暖房と、土壌の熱水消毒ができるようになった。今後はJA静岡が主体となり、各支店の指導員を生産者に派遣して、今回開発したボイラーシステムを提案していく。



<これまでの成果>

助成金名	助成件数 (累計)	調査時期	販売実績のある グループ数	販売金額
農商工連携助成金 (H21～)	95グループ (H29年度助成まで)	H29.4 (H27年度助成まで) 67グループ	37グループ	456,158千円

6 創業資金等支援事業

事業費 4,410,980 円

(1) 創造的中小企業創出支援事業 (間接投資)

H8年度以降に実施した創造的中小企業の発行社債についてのベンチャーキャピタル引き受けに対する債務保証業務が終了したため、H24年度で事業は終了した。なお、事業終了後に発生するベンチャーキャピタルからの債権回収業務、日本政策金融公庫に対する信用保険返還業務を引き続き行った。

・総投資件数及び投資額	28件	2,114百万円
(H24年度末債務保証企業及び債務保証額は無し)		

(2) スタートアップ資本整備支援事業 (直接投資)

H13年度からH16年度に実施したアーリーステージのベンチャー企業の新株引き受けについて、未売却であった1社の株式の買戻しが完了した。

・総株式取得企業数及び取得額	16社	94,917千円
・総株式売却企業数及び売却額	12社	25,531千円

(3) スタートアップ企業支援事業 (ファンド)

財団及び金融機関からの出資により、しずおかスタートアップ投資事業有限責任組合を設立し、H17年度からH21年度に企業株式の取得を行った。

組合の存続期限であるH29.10までに全取得株式を売却し、同年10月に投資事業有限責任組合を解散、H30.1に残余財産を組合員の出資比率に応じ分配し、清算が終了した。

・総資本引受企業数及び引受額	20社	186,950千円
・引受資本売却企業数及び売却額	18社	124,898千円

7 地域需要創造型等起業・創業促進事業

事業費 1,357,714 円

独立行政法人中小企業基盤整備機構から創業補助金の静岡県事務局の委託を受け、H24年度補正予算事業及びH25年度補正予算事業に係る補助金交付先の管理業務を行った。(委託期間 H32.12末まで)

○ H24年度補正予算事業

区分	期首管理件数 (A)	事業廃止件数 (B)	期末管理件数 (A-B)	収益納付件数
地域需要創造型起業・創業	111件	1件	110件	5件
第二創業	11件	0件	11件	0件
海外需要獲得型起業・創業	5件	0件	5件	1件
計	127件	1件	126件	6件

○ 平成 25 年度補正予算事業

区分	期首管理件数 (A)	事業廃止件数 (B)	期末管理件数 (A-B)	収益納付件数
創業	46 件	0 件	46 件	2 件
第二創業	5 件	1 件	4 件	0 件
計	51 件	1 件	50 件	2 件

公2 経営基盤強化

事業費 359,098 千円 (374,647 千円)

中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業が抱える経営課題等についての相談や課題解決のための専門家派遣、経営革新への取組に対する指導、下請企業への受注機会の提供、取引条件の改善支援、現場における経営改善活動を促進するための人材育成等を行った。

1 中小企業支援センター事業

事業費 69,394,743 円

経営の助言、調査、研究、情報の提供等を行うことにより中小企業の経営資源の確保を支援した。

(1) 支援体制整備事業

① 支援機関等連携促進事業

○ 県内支援機関等との情報交換・事業連携等のための全体会議を開催した。

主催会議開催回数 1回 (計画1回)

開催日	会議名	開催場所	出席者
H29. 6. 1	支援機関等連携促進会議	静岡県産業経済会館 (静岡市)	49 機関 50 名

○ 県内支援機関等との情報交換・事業連携のため支援機関等訪問を実施した。9回 (計画10回)

訪問日	訪問先	目的
H29. 5. 9	静岡県下田総合庁舎	伊豆地域商工行政推進会議
H29. 5. 19	三島商工会議所	事業協力依頼
H29. 5. 18	沼津商工会議所	事業協力依頼
H29. 6. 22	富士市商工会	制度説明会
H29. 7. 6	三島信用金庫	制度説明会
H29. 8. 8	藤枝商工会議所	支援機関連絡会議
H29. 8. 29	三島信用金庫	夢起業大賞選考会
H29. 11. 15	三島信用金庫	「食・農」こだわりの逸品展示会
H29. 12. 12	三島商工会議所	産学官マッチング

○ 全国またはブロック単位の会議参加や他都道府県の支援機関等が行う会議への参加および人材交流・支援策調査等を行った。26回 (計画10回)

開催日	訪問先	目的	出席者
H29. 4. 13	(公財) にいがた産業創造機構	外国出願支援事業 情報収集	2名
H29. 4. 17	(公財) 川崎市産業振興財団	外国出願支援事業 情報収集	2名
H29. 4. 17	(公財) 茨城県中小企業振興公社	外国出願支援事業 情報収集	2名
H29. 4. 18	ホテルメトロポリタンエドモンド	IoT 推進が 意見交換会 (関東経済局)	1名
H29. 4. 20	星陵会館	静岡県在京企業交流会 総会	2名
H29. 4. 28	関東経済局 産業技術課 知的財産室	知的財産活動支援事業 申請書提出	1名
H29. 5. 10	全国中小企業団体中央会	支援事業公募説明会	1名
H29. 5. 12	コモンズ・アクトシティ浜松	外国出願支援事業等 案内	1名
H29. 5. 18	知財総合窓口 沼津支所	外国出願支援事業 協力依頼	1名
H29. 6. 9	全国中小企業団体中央会	ものづくり連携支援事業申請他	1名
H29. 6. 20	関東経済局 産業技術課 知的財産室	知的財産活動支援 制度内容確認	1名
H29. 7. 20	星陵会館	静岡県在京企業交流会	2名

H29. 8. 22	静岡県東京事務所	静岡県在京企業交流会	1名
H29. 9. 14	アクトシティ浜松 コングレスセンター	知的財産制度説明会	2名
H29. 9. 19	関東経済産業局	地域中核企業創出支援事業説明会	1名
H29. 9. 21	日本銀行 本店	静岡県在京企業交流会	2名
H29. 11. 10	県地球環境ミュージアム	在京企業交流会視察会	2名
H29. 12. 13	焼津商工会議所	専門家派遣・農商工連携相談	1名
H30. 1. 15	吉川国際特許商標事務所	財団事業協力依頼	1名
H30. 1. 18	星陵会館	静岡県在京企業交流会	3名
H30. 1. 26	中小企業基盤整備機構	販路開拓コーディネート事業	1名
H30. 2. 20	B I v I キャン (藤枝市)	藤枝商工会議所 支援事業報告会	2名
H30. 2. 23	チサンホテル宇都宮	関東ブロック支援担当者会議	2名
H30. 3. 9	三生医薬㈱	静岡県開発型企業研究会工場見学会	1名
H30. 3. 22	鈴与浜松町ビル	静岡県在京企業交流会	1名
H30. 3. 26	経済産業省 関東経済産業局	地域中核企業創出支援事業申請	2名

② 支援体制整備事業

○ 専門家の登録及び支援企業の募集

- ア. 創業者や中小企業者が抱える問題・課題解決を支援するための専門家（経営、情報化、技術、デザイン、I S O分野）の登録更新・新規登録者の募集を行った。なお、登録専門家はホームページ上で公開している。
 専門家登録数 H29年度 当初447名→H29年度末 登録418名
- イ. パンフレット作成・配付、支援企業訪問、地域の支援機関との連携等による支援対象者の発掘を行った。

(2) 専門家派遣事業

創業や中小企業者の経営基盤向上、新分野進出等を支援するため、経営・情報化・技術・デザイン・I S O分野の専門家の登録、および情報の公開を行い、中小企業者等からの要請に応じて専門家を派遣（1/3受益者負担）し、助言を行った。なお、I S O分野で認証取得を目指す企業に対し長期（1企業10回予定）の専門家派遣を実施し、認証取得の支援を行った。

派遣300件 延べ1,404回（計画 延べ1,708）

	経営	情報化	技術	デザイン	I S O	計
派遣企業数	182件	66件	35件	8件	9件	300件
派遣回数	805回	327回	154回	33回	85回	1,404回

(3) 人材育成・情報提供等事業

① 経営支援担当者研修

中小企業基盤整備機構（中小企業大学校）が実施する支援担当者の支援スキル向上に係る支援担当者研修等及び知的財産関連の知識修得等に関する研修に職員を派遣した。

- ・ 支援担当者専門研修 4名（計画 5名）、その他 3名
- ・ 静岡県診断士協会 診断士研修 7名

開催日	テーマ	主催	出席者
H29. 7. 10～8. 4	税務・財務診断（1）	中小企業大学校	1名
H29. 8. 22～9. 15	税務・財務診断（2）	中小企業大学校	1名
H29. 8. 12	診断士研修（静岡県診断士協会）	静岡商工会議所	7名
H29. 12. 4～8	営業販路開拓支援（2）	中小企業大学校	1名
H29. 11. 8～10	地域ブランド戦略による地域活性化	中小企業大学校	1名
H29. 12. 25	知的財産セミナー	アクトシティ浜松	1名
H29. 11. 10	袋井商工会議所 工業部会視察研修会	日進工業（愛知県）	1名
H29. 12. 12	創業支援担当者研修	アクトシティ浜松	1名

② ISOセミナー開催

ISOを認証取得している企業又は認証取得しようとする中小企業を対象として、維持推進に必要なISO内部監査員の育成（受益者負担有り）を行った。

（計画） ISO9001・14001 2コース（各2日間）、受講者 20名/コース

（実績）

開催日	研修名	開催場所	受講者
H29.10.5～6	ISO 9001 内部監査員養成講座	産業経済会館	33名
H29.10.25～26	ISO14001 内部監査員養成講座	産業経済会館	32名

（4）地域中小企業支援センター支援事業

地域中小企業支援センター（17ヶ所）に経営革新計画作成に対する指導・支援、経営革新計画遂行状況を把握するためのフォローアップ調査を委託した。

委託する支援センター	承認件数	相談件数
下田商工会議所	2件	12件
伊東商工会議所	3件	25件
熱海商工会議所	1件	1件
三島商工会議所	15件	15件
沼津商工会議所	20件	128件
富士宮商工会議所	41件	382件
富士商工会議所	22件	65件
静岡商工会議所	42件	122件
焼津商工会議所	4件	15件
藤枝商工会議所	2件	177件
島田商工会議所	2件	33件
掛川商工会議所	0件	30件
袋井商工会議所	6件	52件
磐田商工会議所	3件	51件
浜松商工会議所	38件	118件
静岡県商工会連合会	152件	163件
静岡県中小企業団体中央会	70件	317件
合計	423件	1,706件

2 下請振興等事業

事業費 66,337,169円

（1）下請振興事業

① 支援体制整備事業

ア. 支援体制整備円滑化事業

下請取引に係わる企業データベース管理のため、企業カルテシステム（セールスフォース）を活用し、受注企業の検索、新規登録企業の入力、各種商談会・展示会等の案内を送付した。

イ. 支援機関等連携促進・支援担当者能力開発事業

全国またはブロック単位の会議及び研修会へ参加した。

- 西部地域商工行政推進協議会
- 公正取引委員会中部事務所との会議
- 下請かけこみ寺相談員等研修会
- 関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会担当者会議
- 下請かけこみ寺事業に係る関東ブロック情報連絡会議
- 取引支援事業に係る情報連絡会議
- 中小企業活性化担当者研修

② 窓口相談事業

ア. 下請取引に係る苦情相談

・電話による法律相談（職員回答）にて助言を行った。

下請法関係		下請法以外	
受領拒否	0件	債権回収	17件
支払遅延	0件	契約・取引	39件
代金減額	1件	損害賠償	3件
返品	1件	会社経営	0件
買ったたき	5件	その他	26件
その他	5件		
計	12件	計	85件

イ. 顧問弁護士による法律相談

・弁護士による相談（相談日：毎月第2月曜日、年12回実施）

相談内容	件数
債権回収	2件
契約・取引	6件
損害賠償	1件
会社経営	0件
その他	3件
計	12件

③ 取引あっせん事業

ア. 受発注企業の情報提供事業

○ 下請取引あっせん集計一覧表

年度		H28年度	H29年度
項目			
登録企業数	発注企業	764	762
	受注企業	2,913	2,894
発注申し出件数		94	134
受注申し出件数		73	78
あっせん紹介件数		250	380
あっせん紹介結果	成立	64	61
	不成立	235	59
	折衝中	468	728
契約成立当初受注金額（千円）		64,633	42,793
発注開拓企業件数		76	130

※下請企業の受注量確保のため、県内外の大手・中堅企業に対し巡回による発注開拓

「130企業（※専門調査員巡回 101企業を含む）」を行い、134件の新規発注案件を開拓した。

○ 情報の提供

静岡新聞、民間情報機関誌等により、受・発注情報を広く提供した。

○ 専門調査員による受発注企業情報の収集

発注企業情報収集専門調査員（2名）により、受・発注登録企業を巡回し、近況を把握すると共に、各種の相談に応じたほか、発注案件の掘り起こしを行った。また、発注企業101社、受注企業139社を訪問し、65件の発注案件を掘り起こした。

イ. 商談会等の開催事業

県内中小企業の取引拡大と販路開拓を支援するため、以下の事業を実施した。

○ 受発注企業合同商談会

開催年月日	会場	参加企業		商談件数	商談成立件数	商談成立金額	今後発注予定	見積もり取り交わす	工場見学済・予定
		発注企業	受注企業						
H29. 10. 5	富士市	26社	82社	197件	7件	2,251千円	1件	19件	2件

<28年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
受発注企業合同商談会	H28. 10. 5	富士市	発注 18社 受注 85社	1年後	7件	828千円
	H29. 2. 3	浜松市	発注 23社 受注 84社	1年後	1件	130千円

○ 展示会出展支援

新たな販路開拓を積極的に行う中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展し、販路開拓を支援した。

開催期日	開催場所	展示会名	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
H29. 6. 21 ～6. 23	東京ビッグサイト	第21回 機械要素技術展	16社	半年後	12件	2,039千円

■主催：リード エグジビション ジャパン(株) ■来場者数：88,554名 ■展示会出展社数：2,454社

<28年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
第20回 機械要素技術展	H28. 6. 22 ～24	東京ビッグ サイト	16社	1年後	34件	29,267千円

○ 特定発注企業展示商談会

(株)デンソー及び浜名湖電装(株)との新規取引や協力関係の構築を目的に、県内中小企業等の技術や工法を提案する展示商談会を開催した。

開催期日	会場	出展企業数	来場者数
H29. 9. 14 ～9. 15	(株)デンソー	44社	528名
H29. 9. 25	浜名湖電装(株)	13社	157名

ウ. 発注ニーズ調査

静岡県が県内発注企業300社に実施した「発注企業現況調査」結果に基づき、発注案件「有」と回答のあった52社のうち13社に対して発注開拓訪問を行った。

エ. 下請取引適正化講習会の開催事業

下請取引の適正化を推進するため、「下請代金支払遅延等防止法」等の内容について講習会を開催した。

【基礎編】

回数	開催日	会場	講師	参加人数
1	H29. 6. 9	富士商工会議所(富士市)	元下請代金検査官 渡邊 裕芳 氏	39社 115名
2	H29. 6. 13	静岡県産業経済会館(静岡市)	元下請代金検査官 渡邊 裕芳 氏	42社 111名
3	H29. 6. 16	グランドホテル浜松(浜松市)	元下請代金検査官 渡邊 裕芳 氏	58社 192名
計				139社 418名

【応用編】

回数	開催日	会場	講師	参加人数
1	H29. 11. 16	静岡県産業経済会館(静岡市)	公正取引委員会 児玉 貴士 氏 矢作 大輔 氏	65社 147名

(2) 情報支援事業

① 支援体制円滑化事業

ア. 情報機器の整備及び情報収集・提供

ホームページの活用による情報提供とともに、各種施策についてメールマガジンの発行、相談窓口において経営資料の提供・閲覧・視聴覚教材（ビデオ）の貸出等を行うほか、所内のネットワーク機器を整備した。

- ・ホームページへのアクセス件数 59,552 件
- ・メールマガジンの発行 24 回（月 2 回） 延べ 54,881 人（2,286 人/回）
- ・ビデオ・DVD 貸出 61 件 236 本

イ. 支援機関等連携促進会議の開催

国またはブロック単位の会議参加や他都道府県の支援機関等が行う会議への参加および人材交流・支援策調査等を行った。

○ 他の支援機関等との交流 7 回

開催日	内容	開催場所	出席者
H29. 8. 25	富士通フォーラム	名古屋観光ホテル	1 名
H29. 10. 24～25	中小企業情報化促進セミナー	アルカディア市ヶ谷	1 名
H29. 11. 28	静岡地域コーディネーター会議	㈱山崎製作所	1 名
H30. 2. 2	おおた工業フェア	大田区産業プラザ PIO	1 名
H30. 3. 19	ものづくり応援ツール展示会	相模原商工会議所ホール	1 名

ウ. 情報支援担当者研修

全国組織等が開催する情報化支援に関する研修会に担当職員を派遣した。

○ 支援担当者専門研修 1 人（計画 1 人）

開催日	テーマ	主催	出席者
H30. 1. 10～12	小規模企業の IT 活用支援の進め方	中小企業大学校	1 名

② 窓口等相談事業

中小企業者等からの経営資源に係る情報相談等に対応するため、相談窓口情報相談員を配置して情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出、インターネット等を活用した検索サービスを行った。

また、静岡県中小企業診断士協会の支援を受け、毎週水曜日に相談員を配置し、創業や経営相談に応じた。

○ 窓口相談件数 1,941 件

（相談内容）

（単位：件）

取引相談	経営全般	資金調達	マーケティング	法律・労務・税務	技術	ビジネスプラン	事業提携・会社設立	省エネ・ISO	特許	その他	合計
448	22	5	40	4	112	9	10	3	53	1,235	1,941

3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業

事業費 18,087,492 円

(1) 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業

「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」の企画・運営に係る人材の配置、開講に向けた準備及びインストラクター派遣に向けた準備等を実施した。

項目	内容
a スクールの企画・運営に係る人材の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール校長の配置 ・スクール校長を補佐する事務局職員の配置
b スクールの開講に向けた準備等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人ものづくり改善ネットワークとのフォローアップ契約等 ・スクール推進計画（マスタープラン）、実施要領の作成 ・講師の選定及び講師との連絡調整 ・実習受け入れ企業の選定及び現場実習に対する連絡調整 ・スクール事業及び現場派遣事業に係る広報活動

(2) カイゼン指導者育成事業

現場改善による生産性向上によって県内中小企業の付加価値の増大を促進することを目的に「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を開講し、現場における経営改善活動（品質向上・コスト低減・納期短縮等）を指導できる人材を養成した。

○「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」の開講

開講期間：H29. 8. 25～11. 24 全18回

受講者数：14名（現役13名、OB1名）

共 催：三島商工会議所、沼津商工会議所、富士商工会議所

【座学】

場 所：三島商工会議所会館

内 容：東京大学大学院 藤本隆宏教授の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指し、現場改善手法や現場管理手法等の理論を習得した。

回数	日 程	講師	内 容	
1	H29. 8. 25	國方	開講式及びガイダンス	講義スケジュールの説明と注意事項
			ものづくりの基礎概念	ものづくりとは何か、カリキュラムを一貫する考え方
		濱松	生産性	生産性の概念と改善のステップ
2	H29. 9. 1	伊藤	5S、5定	現場改善手法の原理・原則
			現場改善事例	精密加工、水産加工、印刷、縫製工程等の改善事例
			作業のムダを排除する	作業・工程改善、リードタイム短縮の切り口、着眼点
3	H29. 9. 8	成沢	問題発見の着眼点	実習を通じた改善への「見える化」
			VSM（業務プロセス可視化）	モノと情報の流れ図の基本
			VSM実習・VSMの活用法	VSMの現状マップと将来マップの作成の仕方
4	H29. 9. 15	伊藤	IE実習（生産工学）	IE手法の具体的な活用方法
			生産方式演習	「1個流しプロセス」の演習によるIE手法の実践
			リーダーシップとマネジメント	リーダーシップ、マネジメントとPDCAとは何か
5	H29. 9. 22	濱松	現場改善の定石	現場改善実習に必要な定石の習得
			設備管理（ロボット、AI、IoT含む）	設備導入及び保全、TPMマネジメント
6	H29. 9. 29	國方	フレキシビリティ	多種多様な製品の効率的な生産
			競争力の構成要素	企業競争力の構成要素をもとに生産組織を分析
		春日	品質管理	品質管理の概念と検査工程の設計
7	H29. 10. 6	仲田	不良削減とポカヨケ	不良の表示、分析方法とポカ除け事例
			流れを見切る	良い流れづくりのポイント
			生産計画・工程管理	納期、生産量、在庫の関係と工程管理の概念
			在庫管理	在庫管理の目的、管理手法
8	H29. 10. 13	雨宮	原価管理と原価低減	原価企画、原価維持・改善と原価低減の関連性
			コミュニケーションの進め方	コミュニケーションを良くする方法
			問題解決、人を動かす	現場改善でよくある問題点と対処法
			プレゼンテーションのコツ	体験事例に基づくプレゼンテーションスキル

【現場実習・成果発表】

場 所：県東部の製造業3社（現場実習）

沼津商工会議所会館（H29. 11. 24 成果発表会）

内 容：受講者を3グループに分け、ものづくり中小企業3社に赴き、工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を体得する。また、グループワークを通し、指導者や現場リーダーに求められる指導力、リーダーシップを習得した。

回数	日程	講師	内容
9	H29. 10. 19	仲田、伊藤、濱松	実習現場の作業調査、今後の進め方・目標値の決定
10	H29. 10. 20	仲田、伊藤、濱松	現場改善実習 ①
11	H29. 10. 26		チームディスカッション① (於：実習先企業)
12	H29. 10. 27		現場改善実習 ②
13	H29. 11. 2		チームディスカッション② (於：実習先企業)
14	H29. 11. 9		現場改善実習 ③
15	H29. 11. 10		チームディスカッション③ (於：実習先企業)
16	H29. 11. 16		現場改善実習 ④
17	H29. 11. 17		チーム成果発表 ④ (於：実習先企業)
18	H29. 11. 24		チーム改善発表、個人成果発表



○ インストラクター現場派遣

・実施期間 H29. 6. 12～H30. 2. 23

・派遣回数 延べ47回 (延べ7社)

企業	所在地	事業内容	派遣回数	実施内容
A社	浜松市 西区	プレス溶接加工	7回	新製品立ち上げ支援、専用ラインの設置、総合効率80%以上を目標とした効率化、従業員の改善手法教育
B社	静岡市 葵区	制御盤製作・組み立て	7回	板金ラインの生産性 20%向上を目標とした作業工程の改善、5Sの意識醸成と継続意識の醸成
C社	静岡市 葵区	自動車用灯具の生産・組み立	7回	生産状況の「見える化」による生産管理の一元化、モノの流れの適正化
D社	磐田市	自動車用部品プレス加工	7回	段取り時間 30%削減を目標とした作業工程全体の改善、作業標準の作成
E社	磐田市	魚肉の加工販売	7回	生産効率 20%向上を目標とした作業工程の改善、作業者の動作分析による作業手順の効率化
F社	藤枝市	コンクリートカッターの開発・製造	5回	生産性 20%向上を目標とした作業工程の改善、工場内レイアウトの改善
G社	富士市	自動車部品用金型の製造	7回	生産計画、工程進捗の「見える化」、導入した生産管理システムの効率的な運用、従業員の改善意識の醸成

○ 改善成果事例

企業	改善実施項目	改善成果
A社 (プレス部品製造)	生産計画・購買方法の改善、5S・5定推進	労働生産性 30%向上 材料・仕掛品在庫 30%削減
B社 (衛生機器製造)	動作分析による組立工数の削減、組立作業の標準化、部材置場のレイアウト改善等	労働生産性 30%向上 材料・仕掛品在庫 10%削減
C社 (焼結品加工製造)	レイアウト改善による整流化、部品在庫削減	リードタイム・部品在庫 58%削減
D社 (梱包機械製造)	作業標準化、流れ改善、生産能力の強化	1台あたり組立作業時間 60%短縮 リードタイム 90%短縮
E社 (ネジ部品製造)	生産のライン化、工程の間締め、不良削減等	リードタイム 43%削減、在庫 33%削減

4 中小企業 I o T活用促進事業

事業費 4,527,000 円

静岡県 I o T活用研究会の運營業務を受託し、県内中小企業における I o Tの利活用を促進することにより、新

【会員数】 233 社・団体（企業 182・産業支援機関 22・大学・学校 6・金融機関 15・市町 8）	
セミナー（主催） H29. 6. 12	参加者 45 社・14 団体 100 名 ① 「電池レス無線通信デバイスを活用した IoT アプリケーションの紹介」： スター精密(株) R&Dセンター ② 静岡県 IoT 活用研究会 「RFID タグを使った工具の在庫管理」について ③ 「中小企業における IT・IoT 活用のステップ」 (一社)クラウドサービス推進機構 理事長 松島桂樹 氏 ④ 企業間データ連携分科会について 矢崎部品(株) ものづくり推進室 渡邊嘉彦 氏
総会・セミナー（主催） H30. 3. 13	総会：38 社・団体 46 名参加 ◇ 研究会の H29 年度事業活動報告・H30 年度事業活動計画 ◇ 講演：「IT・IoT を活用した中小企業支援事例 ～生産・稼働管理、品質管理、在庫管理、保守・運用管理～」 (株)叢雲堂 池谷隆典 氏 ◇ 相談会 相談 1 件（製品在庫の不一致について）
セミナー（共催） H29. 11. 29	静岡県立大学 経営情報学部との共催 参加者 47 名 「観光分野への ICT（位置情報・IoT・AR・SNS 等）の利活用について」 講師：静岡県立大学 経営情報学部大学院准教授 渡邊貴之 氏
セミナー（共催） H30. 1. 12	静岡県工業技術研究所・静岡県プレス技術研究会との共催事業 参加者 132 名 講演会 ◇ 「生産現場における IoT 活用の可能性」 講師：ペックオートメーション(株) 代表取締役社長 川野俊充 氏 ◇ 碌々産業(株) 代表取締役 海藤 満 氏 ◇ (株)コアコンセプト・テクノロジー 取締役 CTO 田口紀成 氏
実証実験 に向けての打合せ	① 検査機器の予防保全：検査機器の使用頻度等から故障を予知する 使用予定機器：ラズベリーパイ及び各種センサー（リドスイッチ、電流センサー等） ② 板金加工の生産工程の見える化（加工品の進捗状況、加工時間） 使用予定機器：ラズベリーパイ、タブレット等
ビジネスマッチング H30. 2. 23	「IoT ツール利活用交流会」開催：参加者⇒ 37 社 47 名 中小企業が容易に導入しとくなる IoT ツールを紹介し、展示コーナーにて情報収集（交流）を行った。 IoT プレゼンテーション⇒ 5 社 6 ツールの紹介
分科会（生産・物流） IoT 実践セミナー H29. 9. 8～9	参加者 16 社 21 名 持ち寄った「困りごと（課題）」を討論し、「あるべき姿（こうなって欲しい）」のシナリオ作成までの手法を学ぶ → 実証実験 2 件予定
分科会 （企業間データ連携）	「静岡発エンジニアリングチェーンにおける共通 EDI 連携」の実証実験におけるサービスコンテンツの検討。 各グループの「困りごと」～「あるべき姿」を描き、これを解決すべき方法を H30 年度～実証実験など行いながら検証予定。 ① 静岡ワーキンググループ 2 グループ ワークショップ ・ H29. 9. 20 ・ H29. 10. 30 ・ H29. 11. 20 ・ H30. 1. 10 ・ H30. 2. 21 ・ H30. 3. 27 ② 三島ワーキンググループ 1 グループ ・ H29. 9. 11 ・ H29. 10. 11 ・ H29. 11. 7 ・ H29. 12. 12 ・ H30. 1. 23 ・ H30. 2. 16 ・ H30. 3. 20

分科会 (エネルギー活用) H29. 5. 31	① 先進事例紹介「エネルギー地産地消事業について」： 静岡市環境創造課 ② 「ふじのくにパワープラント構築事業について」： 県エネルギー政策課 ③ 意見交換会
研究会PR活動 H29. 5. 30～31 H29. 7. 18 H29. 7. 26 H29. 9. 3 H29. 10. 16 H29. 12. 1 H29. 12. 16 H30. 2. 24	・「IoT Japan2017」(名古屋国際会議場) 静岡県IoT活用研究会の展示PR ・NPO法人 マンパワーカフェ セミナー ・「やまなしIoT推進研究会」工場見学会 (伊豆技研工業㈱紹介) ・袋井商工会議所 工業部会 例会 ・静岡商工会議所 総務委員会 ・スマートものづくり応援隊全国担当者会議 ・静岡県中小企業診断士協会 セミナー ・日本技術士会 静岡県支部例会

5 ふじのくにCNFプロジェクト推進事業

事業費 8,395,821円

静岡県が設置する産学官連携の組織である「ふじのくにCNFフォーラム」を中心に、県内企業におけるセルロースナノファイバー(CNF)を活用した製品開発を促進するため、コーディネーター3名を配置し、企業動向・技術情報の収集や地域企業に対する情報提供・アドバイス等を県研究員と連携して行った。また、CNFを活用できる人材育成のため、技術講演会を開催した。

(1) コーディネーターの配置、活動

職名	企業訪問数
CNFコーディネーター	76社81回
プラスチックコーディネーター	80社98回
マッチングコーディネーター	15社19回

(2) 技術講演会の開催

	日時・会場・受講者数	講師	講演テーマ
1	H29. 12. 1 13:30～15:35 静岡市産学交流センター 「B-nest」大会議室 (静岡市葵区御幸町3-21) 受講者数 68名	マクセル株式会社 技術統括本部 技術開発部 副技師長 遊佐 敦 氏	新たな発泡射出成形技術 とその応用展開
		京都大学工学研究科 副研究科長・教授 大嶋正裕 氏	セルロースナノファイバーの 特性を活かしたプラスチック 発泡体の創製
2	H30. 3. 9 13:20～15:55 静岡県男女共同参画センター あざれあ 第3会議室 (静岡市駿河区馬淵1-17-1) 受講者数 59名	静岡大学 客員教授 酒井忠基 氏	押出機によるプラスチック コンポジット材料創製の 基礎と応用
		富山県立大学工学部機械システム工学科 客員教授 永田員也 氏	セルロースナノファイバーの 特性を活かしたプラスチック コンポジット材料の創製

6 販売戦略支援ワンストップセンター準備事業

事業費 1,500,000円

販路開拓等に課題を抱える県内中小企業に対し、外部専門家による具体的な助言や職員によるフォローアップ等を行う販売戦略支援ワンストップセンター(仮称)の設置に向け、販売戦略支援に係る効果的な取組について考察するため、県外産業支援機関等の訪問調査を行った。

訪問日	訪問先	所在地
【産業支援機関】4機関		
H30. 2. 8	公益財団法人しまね産業振興財団	島根県松江市
H30. 2. 9	公益財団法人京都産業21	京都府京都市
H30. 2. 15	公益財団法人高知県産業振興センター	高知県高知市
H30. 2. 16	公益財団法人大阪産業振興機構	大阪府大阪市
【県内企業】6社		

H30. 2. 2	富士鋼業(株)	藤枝市
H30. 2. 5	増田紙工(株)	富士市
H30. 2. 5	(株)クリエイティブ・コーティング	三島市
H30. 2.20	(有)豊岡クラフト	浜松市
H30. 3.14	(株)ビートセンシング	駿東郡清水町
H30. 3.14	三丸機械工業(株)	三島市
【(独)中小企業基盤整備機構(販路開拓コーディネーター)】4名		
H30. 1.23	渡部 和義	東京都港区
H30. 2. 7	西川 功一	東京都港区
H30. 2. 7	星野 幸彦	東京都港区
H30. 3. 6	山崎 治	東京都港区
【販売戦略に知見を有する者】13名		
H30. 1.22	日吉 景子	三島市
H30. 1.23	金 炯中	藤枝市
H30. 1.24	岸 耕一	東京都港区
H30. 1.24	南 勇	東京都港区
H30. 2. 7	本間 峰一	東京都三鷹市
H30. 2.14	永田 奈央美	藤枝市
H30. 2.27	岩田 彰人	浜松市
H30. 2.27	星野 順啓	浜松市
H30. 3. 1	西 信之	静岡市
H30. 3. 2	座間 正信	東京都港区
H30. 3. 6	長谷川 猛	東京都港区
H30. 3.12	塚寄 尚吾	埼玉県所沢市
H30. 3.16	増山 達也	静岡市

7 事業承継ネットワーク事務局運営事業

事業費 2,999,478 円

中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを構築し、各構成員との連携強化に向けた全体会議を開催した。

(1) ネットワーク構成員

種別	県市町	金融機関	商工会議所 ・商工会	支援機関	士業団体	その他	合計
機関数	36 機関	20 機関	17 機関	8 機関	6 機関	2 機関	89 機関

(2) 全体会議

開催日	内容	会場	参加者
H30. 3.20	<ul style="list-style-type: none"> ・H30 年度事業承継施策について 静岡県経済産業部商工業局経営支援課 課長 松島通悦 氏 ・事業承継ネットワークの取り組み 静岡県事業承継ネットワーク事務局長 小長谷宏明 ・事業承継に係る課題と対応について 静岡県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 清水至亮 氏 ・成功事例「三島市における事業承継支援の取り組みについて」 三島市産業文化部商工観光課 課長補佐 渡辺 力 氏 	静岡商工会議所 会館 5Fホール	73 機関 90 名

8 高度化資金貸付診断等事業

事業費 18,701,087 円

高度化事業は、中小企業者が共同して経営基盤の強化を図るために工場団地や共同店舗等を建設する事業に対して、県が長期かつ低利な資金を貸し付けるとともに、貸付前、貸付後の経営診断・助言等の実施により、支援する制度である。

静岡県からの委託により、当該経営診断・助言及び財務分析を実施した。

○ 高度化資金貸付実績

- ・H29 年度高度化資金貸付条件（通常）
貸付期間：20 年間（3 年間据置）
貸付利率：0.45%

貸付割合：貸付対象経費の80%以内
貸付先：事業協同組合、街づくり会社（三セク）等
・H29年度高度化資金貸付額（県商工金融課所管）：527,834千円
・H29年度末高度化資金貸付残高（県商工金融課所管）：17,393,084千円（H30.3.31現在）

(1) 高度化資金貸付等に係る診断実績

診断区分	内容	計画件数	実施件数
新規貸付診断	・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断	11	6
条件変更診断	・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断	6	5
フォローアップ診断	・事後助言（フォローアップ）	7	8
対象診断	・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断	6	14
全診断		30	33

(2) 財務分析の実績

区分	計画件数	実施件数	内容
財務分析	50	80	・高度化団地等へ進出している企業の財務分析

(3) 高度化事業調整会議

受託業務を円滑かつ適正に遂行するため、関係機関（県経営支援課、商工金融課、静岡県中小企業団体中央会）と診断案件に係る情報交換を行った。（開催回数：3回）

9 経営革新計画支援事業

事業費 28,940,370 円

県から受託して、中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談・受付及び調査等を行った。さらに県内中小企業の経営革新の促進を図るため、地域中小企業支援センター等と連携して普及・啓発や相談助言等を行なうとともに経営革新計画事例集を作成した。

項目	実施内容	件数等
出張、窓口等個別相談の状況	相談件数	367件（360件）
専門家派遣の状況	派遣件数	196企業、902回
経営革新計画申請の状況	申請受付件数	152件（136件）
経営革新計画承認の状況	承認件数	新規 152件、変更 7件 計 159件（134件）
地域中小企業支援センター等巡回指導の状況	巡回回数	79回（159回）
経営革新計画事例集の作成	作成部数	7,000部（7,000部）
フォローアップ調査の報告状況	報告件数	135件（211件）
実施状況の報告状況	報告件数	665件（753件）

(注) () 内はH28年度の件数等

○経営革新計画事例集掲載企業(抜粋)

本橋テープ株式会社(製造業)

【経営革新計画のテーマ】

伸縮可能で強度を併せ持つループ付き多機能細幅織物「ルーティー」の開発・販売

細幅織物メーカーとして長年培った高い技術力をもとに、ループ状の紐がついたテープ「LOOTEE」の開発を行った。「LOOTEE」は、「かざる」「しめる」「かける」3つの機能を持った細幅織物であり、粘着性のある特殊繊維の使用や紐の織り込み方の工夫などでループ状の紐に40kgfの強度を持たせるとともに、デザイン性を追求することで、消費者の生活シーンに合わせた様々なアイテムを開発した。「LOOTEE」は、魅力ある完成品ブランドの育成を目的に、女性社員や若手社員の発想を活かして、従来取引のない分野への販売につながる機能性とデザイン性の両面を追及した商品群の開発を目指した。なおこのテープは特許を取得し、社員の商品開発にあたっての自信に繋がった。



・LOOTEE を商品化した「タフフック」

西光エンジニアリング株式会社(製造業)

【経営革新計画のテーマ】

マイクロ波加熱と電熱加熱を併用する乾燥機の開発及び販売

ステンレス等金属容器に収容する乾燥物をマイクロ波加熱で乾燥する方法として、マイクロ波加熱と電熱加熱を併用して効率よく乾燥する新たな乾燥機の開発に取り組んだ。一般的には乾燥物を金属容器に収納してマイクロ波乾燥することは難しいが、金属容器の底部を電熱加熱することにより、良質な乾燥物を効率的に乾燥することが可能となった。吸湿したシリカゲルの還元や触媒の乾燥の他、ジュース等の濃縮に効果的な乾燥を可能とする乾燥機を開発した。

開発の進展に伴い、液体から固体分を回収するような水分量の多い乾燥に顕著な効果が認められ、トヨタ系列の触媒メーカーに担持粉末の乾燥・焼成装置として提案して採用されるなど大きな成果が出た。



・マイクロ波加熱と電熱加熱を併用した乾燥機

10 設備貸与事業

事業費 119, 156, 373 円

小規模企業者等(原則として従業員20人以下)及び創業者を対象として、設備を割賦販売及びリースすることにより、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、H26年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権

	H28 年度末残		H29 年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	5 件	31, 672 千円	4 件	19, 775 千円
リース	12 件	77, 474 千円	9 件	34, 040 千円
計	17 件	109, 146 千円	13 件	53, 815 千円

(2) 延納・滞納債権(未収額)

	H28 年度末残		H29 年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	3 件	21, 473 千円	3 件	20, 578 千円

リース	2件	11,855千円	1件	7,306千円
計	5件	33,328千円	4件	27,884千円

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3) 損害賠償債権 (契約解除案件)

項目		H28年度末 不良債権残	H29年度回収等				H29年度末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	12件	0件	0件	(1件)	2件	10件
	リース	8件	0件	0件	(1件)	0件	8件
	計	20件	0件	0件	(2件)	2件	18件
金額	割賦	86,942千円	0千円	0千円	2,400千円	1,250千円	83,292千円
	リース	49,105千円	0千円	0千円	4,800千円	0千円	44,305千円
	計	136,047千円	0千円	0千円	7,200千円	1,250千円	127,597千円

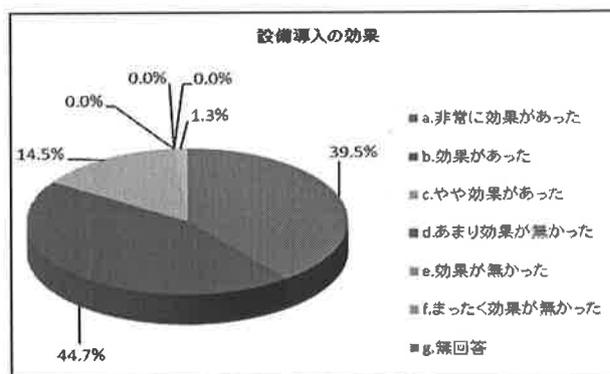
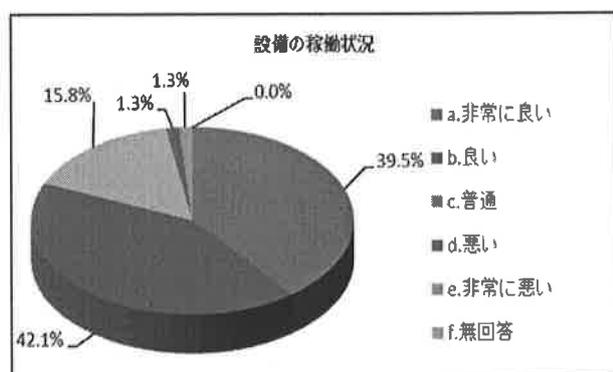
(4) 割賦未収金債権 (契約解除案件)

項目		H28年度末 不良債権残	H29年度回収等				H29年度末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	3件	0件	0件	(3件)	0件	3件
金額	割賦	1,184千円	0千円	0千円	240千円	0千円	944千円

(5) 設備貸与制度・設備資金貸付制度の事後調査

H19年度～H26年度に設備貸与制度・設備資金貸付制度を利用した企業のうち、98企業について、書面による導入設備利用状況調査を実施した。

調査の結果(回答率77.6%)、設備の稼働状況が「非常に良い」「良い」と回答した企業は81.6%と、前年度調査と同水準の結果であった。また、導入効果として「非常に効果があった」「効果があった」「やや効果あった」と回答した企業は84.2%で、事業目的の効果が得られている状況が見受けられた。



11 中小企業振興貸与事業

事業費 2,010,680円

設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等の経営基盤の強化を促進することを目的として実施していたが、H15年度より新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 損害賠償債権 (契約解除案件)

項目	H28年度末不良債権残	H29年度回収等				H29年度末不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	1件	0件	0件	(1件)	0件	1件
金額	4,919千円	0千円	0千円	550千円	0千円	4,369千円

12 設備資金貸付事業

事業費7,541,821円

小規模企業者等(原則として従業員20人以下)及び創業者を対象として、設備導入に係る資金の貸付により、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、H26年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権 (償還金)

	H28年度末残		H29年度末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	139件	681,557千円	108件	425,125千円

(2) 延納・滞納債権 (未収額)

	H28年度末残		H29年度末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	4件	40,439千円	2件	28,533千円

(3) 損害賠償債権 (契約解除案件)

項目	H28年度末不良債権残	H29年度回収等				H29年度末不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	損失補償	
件数	1件	0件	0件	(1件)	0件	1件
金額	3,355千円	0千円	0千円	180千円	0千円	3,175千円

公3 科学技術研究開発支援

事業費 275,756千円 (202,645千円)

県内産業における科学技術の振興を図るため、中小企業等が行う新技術・新製品開発等への助成、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチング、産学官の連携強化等に取り組んだ。

1 地域活性化支援事業

事業費185,566,986円

県内産業の振興のため、地域活性化基金(総額90億円)を静岡県からの借入金(72.1億円=中小機構72億円+県0.1億円)と当財団の拠出金(17.9億円)で造成した(平成19年度)。本基金の運用益を活用して、中小企業者等が行う研究開発・販路開拓の事業や、創業者・特定非営利活動法人が行う新製品及び新役務の提供事業等に対して助成した。

<助成実績>

事業名	件数	確定金額
産学官連携研究開発助成事業	9件	79,572千円
中小企業研究開発助成事業	9件	28,835千円

創業者研究開発助成事業	0件	0千円
静岡新産業集積クラスター研究開発助成事業	0件	0千円
地域密着ビジネス新事業助成事業	17件	15,778千円
地域密着ビジネス新事業(販路開拓)助成事業	28件	23,501千円
小計	63件	147,686千円
地域活性化助成企業 支援事業	1件	1,349千円
小計	1件	1,349千円
計	64件	149,035千円

○ 助成例(抜粋)

産学官連携研究開発助成事業	
生産性およびコンクリート品質の向上に貢献するコンクリート余剰水除去ロボットの实用化計画	
<p>従来職人が手作業で行っていた工程をできるだけ機械などの自動化へ移行し、生産性向上と更なる建築物の品質向上を実現するため、開発を進めてきた余剰水除去ロボットを実用化することができた。今後は、自社の施工現場での検証実験を続ける。</p>	

中小企業開発助成事業	
高性能グラウンドゴルフクラブの新素材・新構造研究開発	
<p>高齢の女性や低体力者をターゲットとし、グラウンドゴルフクラブのヘッドを350gから300gに軽量化した。さらに、軽量化品について飛距離を12%伸ばすことにも成功した。女性層のシェアアップを目指す。</p>	

<これまでの成果>

助成金名	助成件数 (累計)	調査時期	商品化 件数	販売実績 のある企 業数	販売金額	知財等 取得件数
地域活性化 助成金 (研究開発) (H19~)	221社 (H29年度 助成まで)	H29. 4 (H27年度助成まで) 185社	66社	78社	6,906,436千円	55件 (出願 件数)
地域活性化 助成金 (地域密着) (H19~)	110社 (H29年度 助成まで)	H29. 4 (H27年度助成まで) 76社	—	59社	931,255千円	—
地域活性化 助成金 (販路開拓) (H20~)	255社 (H29年度 助成まで)	H29. 4 (H27年度助成まで) 199社	—	163社	9,769,929千円	—

2 地域活性化支援事業助成企業支援事業

事業費1,349,928円

地域活性化支援事業において助成した中小企業者が産業財産権等を出願し、将来的な技術優位性の確保、事業展開の拡大を図ることを目的として、出願経費の一部を助成した。

事業名・実績	助成例
産業財産権出願支援助成 助成件数 6社6件 確定金額 1,350千円	特許出願6社6件に対して助成した。

3 基本財産単独地域活性化支援事業

事業費10,230,231円

地域活性化支援事業に充てていた基本財産の運用益を用いた助成事業を実施した。

事業名	事業内容	補助率・限度額等	
産学官連携研究開発助成事業	大学、県内公設試と連携して行う新技術・新製品等の実用化のための研究開発	補助率 10/10 限度額 10,000千円 件数 1件程度	助成件数 1件 助成額 10,000千円

4 産学官技術交流促進事業

事業費23,115,676円

技術コーディネーター(3名)が、大学、静岡県工業技術研究所、金融機関等と連携し、企業の新技術・新製品開発に係る技術ニーズと大学等における研究シーズや大手企業の技術シーズのマッチングを図った。また、企業からの技術相談にも広く対応した。

項目	実績	
新成長産業分野の助成採択に対する支援	46件	
中小企業の技術課題等に対する相談対応	263件	
コーディネーターのスキルアップ事業	静岡県工業技術研究所 職員 1名 H29 年度「技術移転に係わる目利き人材育成プログラム」コーディネート基礎コース ・主催 国立研究開発法人科学技術振興機構 ・開催日 H29. 7. 4、7. 5、9. 5、9. 6 (4日間) ・会場 国立研究開発法人科学技術振興機構 東京本館別館 (東京都千代田区) ・内容 「産学連携の俯瞰と研究成果の発掘」 「研究成果の選別・評価」 「研究成果の付加価値の創出と市場性評価」 「研究成果のマーケティング」	
大手企業知的財産マッチング	○ 静岡県知的財産活用研究会設立記念講演会 H29. 5. 19 静岡労政会館大ホール (静岡市) 参加者：120名 ・「川崎モデルによる知的財産を活用した中小企業の新事業展開」 講演：藤沢久美 氏 ・パネルディスカッション	
	○ 知的財産マッチング in 浜松 H29. 7. 21 アクトシティ浜松 コンgressセンター (浜松市) 参加者：42名 ・事業概要の説明 ・技術シーズ説明 産業総合技術研究所:単眼カメラによる軽量3次元形状復元他 中部電力㈱:湿気硬化型シリコーン樹脂コーティングスプレー装置他 個別相談：各4件	

	<p>○ 知的財産マッチング（個別面談） H29. 11. 24 静岡県産業経済会館（静岡市） ・個別面談会 ・シーズ提供：㈱イトーキ「ハンガーを利用した非接触給電技術」 個別相談：8件</p>	
	<p>○ 知的財産等の中小企業支援メニュー説明会 H30. 3. 20 静岡県産業経済会館（静岡市） 参加者：57件 ・「企業経営に生きる知的財産と特許庁の中小企業支援策」 特許庁 普及支援課 ・「中小企業の活用できる補助金等」 関東経済産業局 流通・サービス課</p>	
	<p>○ 知的財産マッチング（個別面談） H30. 3. 23 静岡県産業経済会館（静岡市） ・個別面談会 ・シーズ提供：日本原子力研究開発機構 「レアメタル・貴金属類の回収技術」 個別相談：5件</p>	
<p>大学連携による 知的財産活用 アイデアコンテスト</p>	<p>H29. 6. 29 静岡県立大学 静岡大学 常葉大学 静岡産業大学 キックオフ会 ・事業概要説明 ・知財技術解説 富士通㈱：三原雄一氏 ㈱イトーキ：水谷繁人</p> <p>H29. 10. 13、11. 6 静岡県立大学 静岡大学 常葉大学 ブラッシュアップ会 @静岡信用金庫 研修センター 各大学からのプレゼンと講評 富士通㈱・静岡信用金庫・発明協会・産業財団</p> <p>H29. 11. 27、11. 30 静岡文化芸術大学、静岡産業大学 ブラッシュアップ会 浜松信用金庫・発明協会・産業財団</p> <p>H29. 12. 22 知財アイデアコンテスト静岡大会 @静岡信用金庫 研修センター 静岡県からは静岡大学3チーム、静岡県立大学2チーム、静岡文化芸術大学2チーム、静岡産業大学2チーム、常葉大学1チーム 各大学によるビジネスアイデアのプレゼンテーション</p> <p>H30. 3. 5 知財活用スチューデントアワード 信用金庫京橋別館（東京都） 参加：4県 10大学 11チーム （本県から静岡文化芸術大学、静岡県立大学各1チーム参加） <優秀賞>静岡文化芸術大学「チームやらまいか」</p>	 

<外国出願支援事業>

中小企業等の戦略的な外国出願を促進するため、基礎となる出願（特許、実用新案、意匠、商標）と同内容の外国出願にかかる経費の一部を補助した。

	企業名	種別	交付確定額（円）
1	株式会社アールテック	特許	587,000
2	株式会社アビサレ	特許	953,000
3	有限会社アント	特許	554,000
4	有限会社オフィス・ユーカリ	特許	562,000
5	株式会社タウンズ ①	特許	1,500,000
6	株式会社タウンズ ②	特許	1,500,000
7	株式会社浜松ファーマリサーチ	特許	304,000
8	株式会社ドリブルジャパン	商標	199,000
9	株式会社エイビイエス	商標	407,000
		合計	6,566,000

5 戦略的基盤技術高度化支援事業

事業費 51,937,044 円

事業管理機関として、技術開発を目指すものづくり中小企業が、当該支援策等を通じて技術の高度化を果たし、新たな需要を切り開くため、研究開発の運営管理等の支援をした。

株式会社エステック（駿東郡清水町）

テーマ：「日本初となるチタン合金製航空機用スイベルジョイントの設計開発」
（3年目/3年間）

<これまでの成果>

事業最終年度で、事業管理機関として国への交付申請手続きを行い、最終年度となる3年目の事業執行を行った。本年度は、間接補助先で海外マーケティングを行い、得られた情報を基に、これまでのエルゴ型に加え、ストレート型のスイベルジョイント（自在回転継手）も開発した。航空機に係る Nadcap 認証取得もできたことから、事業化に向けて本格的な取組を計画中の新工場にて行っていく。

株式会社ハイタック（沼津市）

テーマ：「医療器具の国産化に貢献する極小径超深孔加工技術及び加工内面の品質保証技術の開発」
（1年目/3年間）

<これまでの成果>

事業初年度で、提案書作成や交付申請事務を支援の結果採択されたもの。初年度のスタートにあたり、研究関係者が一堂に会する研究推進委員会を開催すると共に、企業と大学・高専に対して事業推進の支援を行った。当初計画のとおり事業が進み、手術器具の試作を自在に行える加工設備の導入が完了し、深孔の加工内面を光計測技術を使って表面粗さや傷などを検出する基礎技術の開発に目途がついた。

公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト

事業費 90,698 千円（86,673 千円）

県で策定したフーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画に基づき、同プロジェクトを推進する中核機関として、地域資源を活用した高付加価値型食品等の開発及び県内に集積する食品・医薬品・化成品産業を母体にした次世代型の食品関連産業の創出を図った。

1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業

事業費 70,292,629 円

フーズ・サイエンスセミナー及びワークショップの開催、各種展示会等への出展及び事業化コーディネーター等に

よるビジネスマッチングを推進することにより、食品関連企業が集積する県中部地域を中心に、産学官連携による機能性食品の開発を促進し、食品関連産業の振興と集積を図った。

(1) フーズ・サイエンスセミナー及びワークショップ等の開催

サイエンスアドバイザーや販路開拓・拡大アドバイザーの知見により付加価値の高い施策を展開した。

① フーズ・サイエンスセミナー

参画市(静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市)と連携して企業の関心が高いテーマを中心にセミナー等を実施する。

開催日	開催地	参加人数	内容
H29. 5. 12	静岡市	120人	運動機能性食品セミナー、パネルディスカッション 施策紹介・成果発表、交流会
H29. 8. 4	静岡市	76人	通販セミナー、商談会、交流会
H29. 10. 29	藤枝市	89人	フードスマイルフェスティバルでの施策・成果品PR、 体験コーナー
H29. 11. 13	焼津市	64人	通販セミナー、交流会、商談会・相談会
H30. 1. 18	島田市	143人	ビジネスチャンスセミナー
H30. 3. 28	牧之原市	59人	儲かるフーズ・サイエンスセミナー
合計		551人	

② ワークショップ

食品関連企業自らの強みを活かし市場に合った課題解決を支援するため、専門家等による少人数講義(ワークショップ)形式で開催。セミナー等関連する施策との連動や実践的な深化により、更なる事業促進を目指す。参画市や市場のニーズに合わせ、既存の機会を活用し機能性表示食品制度やマーケティング等をテーマに実施する。

開催日	テーマ	場所	講師等
H29. 5. 16	機能性表示食品制度の活用Ⅰ	焼津市役所	南条アドバイザー、野島担当員
	焼津市消費者連絡会年次総会におけるセミナーとして、焼津市役所くらし安全課から機能性表示食品制度について講演依頼。機能性表示食品制度の仕組みと県内の取り組み事例約1時間の講演。今後も製品開発企業と併せ意識の高い消費者団体への周知啓発が必要と考えられる。 参加：消費者連絡会会員等28名程度		
H29. 8. 24	首都圏展示会勉強会Ⅰ	東京ビッグサイト	宮口経営アドバイザー
	展示会での成約率向上のため、バイヤーをターゲットとしたキャッチから商談まで見せ方から心理に及ぶノウハウと裏側をマーケティング専門家と現地学ぶ。移動車内レク、実見、グループワークで参加者間の交流も図られた。 アグリフードEXPO 東京2017、ジャパンインターナショナルシーフードショー 参加：企業等26名 行政関係10名 講師1名 計37名		
H29. 9. 6	展示会勉強会Ⅱ(焼津市単独)	東京ビッグサイト	海野アドバイザー
	焼津市による展示勉強会。焼津市関連企業限定であるものの、参画市メリットのため海野販路開拓・拡大アドバイザーを講師として実施。参加者から学びが深まったと好評。 東京インターナショナルギフトショー、グルメ&ダイニングスタイルショー 参加：企業等24名 行政関係5名 講師1名 計30名		
H29. 8. 22	機能性表示食品制度の活用Ⅱ	浜松工業技術支援センター	鈴木敏CD、野島担当員
	機能性表示食品制度の概要、届出資料の作成、傾向と展望について具体的にレク。双方向性を心掛け、質疑や意見交換も活発で、参加者同士の交流も図られた。届出に向けて始動している企業もあり、届出動向やノウハウ情報が好評。 参加：9社9名		
H29. 8. 30	機能性表示食品制度の活用Ⅲ	ワークピア磐田	鈴木敏CD、野島担当員

	機能性表示食品制度の概要ほかレク。少人数に絞り、レベルも同等の参加者であったため質問も盛んでワークショップ本来の良さが活かされた。同席した磐田市職員によると潜在ニーズは多く、今後も開催要請の可能性あり。 参加：2社3名		
H29. 10. 17	機能性表示食品制度の活用IV	函南町商工会	南条アドバイザー、野島担当員
	函南町商工会主催の相談会への出席要請をうけて相談員として参加。農産物のイヌリン測定や農産物を原料にしたジャム、ピクルス、乾燥チップなどの製品の機能性付与に関する相談など個別案件に対応した。 参加者：2社2名		
H30. 2. 27	機能性表示食品制度の活用V	日本オーガニック ㈱吉田工場	南条アドバイザー、野島担当員
	日本オーガニック㈱の勉強会への出席要請をうけて講師として参加。同社吉田工場では、社内外の関係者を集めて定期的に勉強会を開催している。 トマト(生鮮)の機能性表示(GABA)を目指すにあたり、食品への機能性表示に関する知識の向上を目的に、ワークショップを開催。 参加：130名		

<サイエンス、販路開拓・拡大アドバイザー関連>

分野	内容
機能性素材成分分析及び活用	リコピン、γ-アミノ酪酸 計96検体 → DB化、売り込み
産官学民金、各種クラスターとの連携促進	AOI 機構、静岡県海洋産業クラスター協議会支援施策の適切な審査への協力
成果品等販売支援	延べ27件 11社14品目 機能性素材、お菓子、飲用水ほか→お土産卸企業、ドラッグストアほか

(2) 各種展示会等への出展

プロジェクトの情報発信と企業の販路開拓のため、県内外への出展・出展支援を実施した。

	展示会等名	開催日	会場	出展支援企業
1	SEOUL FOOD2017	H29. 5. 16 ～19	韓国国際展示場 (ソウル市)	㈱SHOUJI 西光エンジニアリング㈱ ㈱高柳製茶 ㈱エスクリエイト
2	静岡メイカン 総合食品展示商談会	H29. 7. 12 ～13	アクトシティ浜松 (浜松市)	フーズ事業・成果品等のPR
3	北洋銀行ものづくり テクノフェア	H29. 7. 20	アクセスサッポロ (北海道札幌市)	㈱インダテック ㈱ケイ・アイ・デイ ㈱寺田製作所 西光エンジニアリング㈱ 東洋レヂン㈱
4	インフォメーション バザール inTokyo	H29. 9. 7 ～8	池袋サンシャインシティ (東京都豊島区)	三ヶ日町農業協同組合 KuRuMiX ㈱カミナリヤ ㈱おさだ製茶 ㈱大蔵園 ㈱はの字食品 ㈱ミカコーポレーション 安間製茶 ㈱松田商店 ㈱SHOUJI ㈱キムラ加工
5	アンチエイジングジャパ ン2017	H29. 9. 11 ～13	東京ビッグサイト (東京都江東区)	㈱ケアリングジャパン ㈱コーヨー化成 ㈱シーク ㈱シャンソン化粧品 to-ricco

				日研フード(株) 日本デイリーヘルス(株) 箱根の恵みビバレッジ(株) フェイスラボ(株) 焼津水産化学工業(株)
6	I Z U食彩トレードフェア	H29. 9. 8 ～9	函南町文化センター (函南町)	(株)タムラ食品
7	食品開発展	H29. 10. 4 ～6	東京ビッグサイト (東京都江東区)	(株)西野商店 (株)不二工芸製作所 (株)ミカコーポレーション 焼津水産化学工業(株) +研究会取組プレゼン
8	高校生実学フェスタ	H29. 10. 14	アクトシティ浜松 (浜松市)	フーズ事業・成果品等のPR
9	ふじのくに総合食品開発展	H30. 1. 31	グランシップ (静岡市)	清栄コンピュータ(株) 政寿司 静岡県水産(株) (株)西野商店 (有)山本耕業 静岡グラタン部会 夢いちご部会 ヤーコン部会 テアフラビン部会 GABA 高含有胚芽米部会
10	静岡おみや 首都圏商談会	H30. 2. 2	秋葉原 UDX ギャラリー (東京都千代田区)	(株)カネス製茶 (株)カネシン JKS 尾州真味屋総本舗 牧野農園 原藤商店 (いちまる、小栗農園) するが夢苺(株) (山梨罐詰、フードコミュニティ) 西光エンジニアリング(株) (ヤーコン舎、鳥居食品) 焼津水産化学工業(株) 藤枝北高他フーズ選抜
11	スーパーマーケットトレードショー	H30. 2. 14 ～16	幕張メッセ (千葉市)	(株)高柳製茶 (株)田丸屋本店 (有)西林商店 石田缶詰(株) (株)ミカコーポレーション 焼津市 駿河湾深層水利用者協議会 (株)カネシン JKS 本山製茶(株) (株)白形傳四郎商店 (株)山本食品 (株)ガリバーフーズ (株)カミナリヤ 花の舞酒造(株) 朝霧乳業(株) (株)丸晶

<これまでの主な成果>

事業名	年度	出展者数	調査時点	来場者数	商談件数	成約件数	成約金額
北洋銀行ものづくり テクノフェア	28	8社	1年後	4,800名	18件	5件	3,700千円
インフォメーションパ ザール in tokyo	28	11社	1年後	4,100名	7件	11件	1,480千円
ふじのくに総合 食品開発展	28	13社	半年後	1,011名	53件	0件	0千円

(3) 事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングの推進

専門性に特化したアドバイザーや食品分野に精通したコーディネーターにより、製品開発から販路開拓にわたる様々な相談に対応した。

活動内容	件数
商品開発支援	270件
機能性支援	212件
販路促進支援	257件
企業訪問	621社

<サイエンスアドバイザー関連>

○機能性素材成分分析の実施

・リコピン、γ-アミノ酪酸 計96検体

<販路開拓・拡大アドバイザー関連>

○成果品等販売支援

・商談成立60件(27社 52品目) 機能性素材、お菓子、飲用水ほか

(4) 機能性表示制度支援プラットフォーム利用状況 (27から累計)

相談件数	ヒト介入試験実施件数	システムティックレビュー実施件数
168件	2(6)件	4(14)件

2 高付加価値型食品等開発推進事業

事業費 10,377,464円

機能性食品などの高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援に取り組んだ(対象経費1/2以内、限度額2,000千円)。

(1) 食品等開発助成事業

申請件数・金額			採択件数・金額			交付確定件数・金額		
13件	機能性食品等 13件 食品加工機械 0件	17,035千円	7件	同7件 同0件	7,971千円	7件	同7件 同0件	7,477千円

(千円)

申請者	所在地	事業概要	交付確定額
静岡県温室農業協同組合	袋井市	静岡温室メロンの機能性表示食品の開発	945
(株)増田採種場	磐田市	機能性表示食品として新規ケール加工品の開発	2,000
(株)カルシン	駿東郡清水町	病院、介護施設での炊飯用栄養補助食品の開発	484
(株)荒畑園	牧之原市	粉末茶での機能性表示食品の開発	314
(有)ソーイ	沼津市	食品添加物未使用の新規製パン用品質改良剤の研究開発	2,000
(株)杉初水産	沼津市	鯖の栄養成分分析に基づく機能性食品の開発	910
(株)マルハン	藤枝市	栄養機能食品としてビタミンD増加乾椎茸粉末の開発	824
合計			7,477

<これまでの成果>

助成金名	助成件数(累計)	調査対象	商品化件数	販売金額
食品等開発助成金	H23～29 (60社)	H26～28	9件	117,776千円

(2) 食品等開発研究会の開催

研究会	5部会：参画企業数		交付確定額
育成型企業	第1部会：静岡グラタン部会 第2部会：夢いちご部会 第3部会：ヤーコン部会	9社	1,900千円
機能性素材活用	テアフラビン部会 GABA高含有胚芽米部会	2社	

(スケジュール)

- ・H29. 6. 14 全体合同会議(各部会事業計画発表等)
- ・H29. 9. 22 試食会
- ・H29. 10. 26 学生対象内覧会
- ・H29. 11. 20 内覧会：試飲・試食、専門家アドバイス
- ・H30. 1. 31 ふじのくに総合食品開発展(商談会及びマーケティング)
- ・H30. 2. 2 静岡おみや首都圏商談会(商談会及びマーケティング)

<これまでの成果>

助成金名	助成件数(累計)	調査対象	商品化件数	販売金額
食品等開発研究会	H23～29 (36件)	H26～28	18件	1,829,249千円

○各部会事業概要

部会(開発テーマ)	参加企業	製品名	製品開発コンセプト
静岡グラタン部会 (第1部会)	原藤商店(静岡市) 株式会社いちまる(焼津市) 株式会社小栗農園(牧之原市)	静岡県特産品の魅力 を込めたグラタン	静岡県産の食材を活用した グラタンの製品開発
夢いちご部会 (第2部会)	するが夢苺(静岡市) 山梨罐詰(静岡市) 株式会社フードコミュニティ(静岡市)	イチゴジャム、 イチゴゼリー	苺の新規性の高い加工品の 製品開発
ヤーコン部会 (第3部会)	西光エンジニアリング(株)(藤枝市) 鳥居食品(株)(浜松市) ヤーコン舎(三島市)	ヤーコン有用成分含 有健康食品	ヤーコン加工品の製品開発
テアフラビン部会	機能性素材提供企業と連携	テアフラビン配合ゼ リー等	口腔内病原性細菌への抗菌 効果や血流改善効果等に対 する効果が報告されている テアフラビンを活用した試 作品開発
GABA 高含有胚芽米部会	機能性素材提供企業と連携	ご飯類・スープ、菓子 類、和洋菓子、煎餅、 仕出し弁当他	ストレス緩和や血圧を正常 に保つ機能が報告され、食 品等開発助成事業(H28)に より確立した巨大胚芽米の GABA を活用した試作品開 発。

3 産業人材育成事業

事業費 2,613,000 円

総合食品学講座を実施し、食品関連企業における製品開発の中核的人材育成に取り組んだ。

開催日	内容	会場	受講者数
H29. 7. 20～10. 26 全 14 日間	A：食品の加工技術(10 講座) B：食品の安心・安全技術(8 講座) C：マーケティング・販売戦略(6 講座) D：実習(微生物検査技術など)(6 講座) 計 30 テーマ	静岡県立大学 静岡県工業技術 研究所 他	一括受講者 : 30 名 一括受講者相当 : 2 名 個別受講者 : 59 名 個人修了認定 : 22 名 事業者修了認定 : 4 社

公5 ファルマバレープロジェクト

事業費 273,367 千円 (286,617 千円)

県が策定したファルマバレープロジェクト戦略計画に基づき、産学官、医看工連携による画期的な医療機器や診断・治療法等の開発による新産業の創出と人材育成を図り、地域経済の活性化につなげるとともに、先進医薬の普及促進や医療の質の向上を目指した治験ネットワークの充実を図る。

1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業

事業費 113,092,454 円

ファルマバレーセンターを運営し、アドバイザーを活用した共同研究や医看工連携による研究開発の推進を行うほか、交流会や医療機器等テーマ実現化検討会議等を開催し産学官の交流や産業化を支援した。

(1) 産学官ネットワーク形成

産学官ネットワークを形成させるための産業支援ネットワーク会議や交流会の開催、大学・企業の訪問調査等を実施した。

- 産業支援ネットワーク会議 7回開催
会 場：静岡県医療健康産業研究開発センター 大会議室
参加人数：各回 50 名

開催日	テーマ	事業名 (内容)
H29. 4. 19	経済産業省の施策について	富士山麓ビジネスマッチング促進事業 (地元市町関係機関の情報交換)
H29. 6. 21	ファルマバレーセンター事業実施結果について	
H29. 7. 19	ファルマバレープロジェクトの成果について	
H29. 9. 20	開発助成事業の活用について	
H29. 11. 15	知的財産権セミナー	
H30. 1. 17	第3次戦略の見直しに向けた意見交換	
H30. 2. 27	ものづくり補助金について (静岡県ものづくり支援センター)	

- ふじのくに先端医療総合特区地域協議会及び富士山麓ファルマバレー戦略推進協議会の開催

開催日	協議会構成員	出席者
H30. 3. 20	県、沼津・富士工技センター、東部地域 12 市町、同商工会議所・商工会、中央会、遺伝研、大学・高専、金融機関 (52 機関・団体)	35 名

- 企業、大学、医療機関等の訪問 約 439 カ所 (延べ件数)
 - かかりつけ湯選定 48 施設 (H30. 3 現在)
 - フォーラム会員数 1,161 名
- (2) 新産業・新事業シーズ創出

医療・介護現場のニーズを製品化に結び付ける医用機器等開発テーマ実現化検討会議の開催及び同会議で実現化の候補になった開発テーマについて、医療機器等の製品化に向けた技術的課題を解決するために医療機器等可能性調査(試作)を行った。

○ 医用機器等テーマ実現化検討会議 2回
会場：ファルマバレーセンター会議室

開催日	内容
H29. 7. 26	今年度事業概要説明 医療現場ニーズ新規案件説明・検討 ・手台マット ・救護区分 ・足首トレーニング装置 ・県産の茶や柑橘による消臭剤 ・陰洗ボトルの温度識別シール ・負担をかけない心電図モニター
H29. 12. 7	医療現場ニーズ新規案件説明・検討 ・乳腺診療のための生検針試作及び穿刺装置設計

○ 可能性調査審査会 2回 (H29. 9. 28、 H30. 2. 2)
・ 開発テーマ 6件を審査・選定 (実証試作を委託)

開発テーマ	委託先
手術用手台マット	株式会社丸井商事
ポジ・クッション	株式会社丸井商事
災害時の救護区分表示シール	タキゲン製造株式会社
血栓防止用足首トレーニング装置	有限会社京和工業
乳腺診療のための生検針	東海部品工業株式会社
エメリーボード (爪をケアするためのヤスリ)	株式会社エイディーディー

○ 企業連携助成事業

県内中小企業の研究開発成果の早期実用化を推進するため助成をした。

事業テーマ	企業名	企業所在地	
安価で容易に定量連続注入可能な経腸用半固形化栄養剤注入器の開発	大村興業株式会社	沼津市原	東部
点滴チューブ引抜・キンク防止具の開発と事業化	株式会社川口化成	沼津市桃里	東部
歯周病ポケット測定器開発	深澤電工株式会社	長泉町桜堤	東部
肛門科向け、検査用・手術用肛門鏡の製品開発への取り組み	株式会社平垣製作所	静岡市清水区	中部
作業療法用器具「ねじボード」の製品開発	橋本螺子株式会社	浜松市南区	西部

(3) 研究開発支援

○ 地域企業が研究開発を進める医薬部外品の製造に関し、専門家アドバイザーを活用し、「医薬品・医療機器等の品質有効性及び安全性の確保等に関する法律 (薬機法)」に準拠した開発を支援した。

(4) 医療健康関連産業人材育成

地域企業の有する高い技術力と研究開発成果を新事業・新産業の創出に結びつけるため、特許・マーケット戦略および実践的ビジネス交渉学の講座を開催した。

○ 経営戦略セミナー 8回 (会場：静岡県医療健康産業研究開発セミナー 定員 25名/受講 25名)

開催日	内容
H29. 7. 12	技術経営入門 : 技術で勝ち、経営で成功するための基本戦略を学ぶ
H29. 7. 19	技術経営の基礎理論 : テクノロジー・マネジメントに関する最近のトレンドを学ぶ
H29. 9. 6	戦略策定の基礎 : 戦略策定に必要な情報分析力を学ぶ
H29. 9. 27	対話力の基礎理論 : 対話と交渉の基礎的な方法論を学ぶ

H29. 10. 11	知財ビジネス交渉の基礎理論：知財を生かす戦略的交渉理論を学ぶ
H29. 11. 15	ビジネス修辞学（レトリック）と意思決定：ビジネスにおける思考停止状態、心理バイアス、意思決定のバイアスについて学ぶ
H29. 11. 15	組織論：個を生かし、組織を活性化させる方法論
H29. 11. 22	戦略的意思決定：リスクを把握し適切な意思決定を行うための方法論

(5) 研究・研修

国立研究開発法人日本医療研究開発機構の委託費を活用し、多施設共同で医薬品等の研究開発を行い、製品化・事業化を進めた。ファルマバレーセンターは共同研究進捗管理、臨床試験に向けた研究開発方針の調整および研究成果を事業化するためのコーディネート活動を実施した。

<研究テーマ（参画機関）>

- 難治性固形がんに有効なPARG阻害剤の実用化研究（国立大学法人 長崎大学）

(6) 広報・販路開拓

ファルマバレープロジェクト関連ニュースのレター発行や同プロジェクト普及推進のためのパンフレット等を作成した。

- 視察 29団体 235名
- メールマガジンの配信 75回配信
- ファルマバレープロジェクトパンフレット作製 4,000部
- かかりつけ湯パンフレット作製 2,000部

関東経済産業局の地域中核企業創出・支援事業を活用し、海外販路開拓を行った。

- MEDICA2017(ドイツ)への地元企業の出展支援

(7) QMS体制構築支援事業（新成長戦略的育成事業 再掲）

医薬品・医療機器等法に基づくQMS整備と運用に精通する人材育成に取り組む地域企業を支援した。

- 専門家派遣企業 4社

企業名	住所
株式会社ヒューマンエンジニアリング	三島市
ヤザキ工業株式会社	駿東郡長泉町
株式会社吉田製作所	駿東郡小山町
日商産業株式会社	駿東郡長泉町

2 先進医薬普及促進事業

事業費 27,358,913円

ファルマバレープロジェクトの一環として、先進医薬の普及推進及び医療の質の向上のため、治験ネットワークの運営及び充実を図った。

(1) 治験ネットワークの機能強化

- 推進部会の開催

開催日	会議名	内容	会場	出席者数
H29. 6. 29	静岡県治験ネットワーク推進部会 (全体会議)	本年度事業説明	レイアップ 御幸町ビル	30名
H29. 11. 30	静岡県治験ネットワーク推進部会 (ワーキンググループ)	臨床研究WG立ち上げ	静岡駅ビル 「パルシェ」	11名
H30. 1. 19		研究テーマ検討		12名

- ・ ネットワーク病院の訪問 9病院（延べ13回）

(2) 支援倫理委員会の運営

- 支援倫理委員会部会を運営し、各医療機関の治験審査委員会を支援した。5回開催

開催日	会場	備考
H29. 5. 26	静岡駅ビル「パルシェ」	IRB 委員等研修部会
H29. 8. 30	遠鉄百貨店会議室	
H29. 11. 9	静岡駅ビル「パルシェ」	
H29. 12. 22	遠鉄百貨店会議室	
H30. 1. 29		

(3) 治験の推進強化

○ 企業への営業活動、医療機関の調整等 製薬企業、団体等への訪問 18社 (延べ21回)
○ 治験実施の相談、受託支援 (H15年から延べ) 相談 50社 170プロトコール 支援契約 39社 117プロトコール (H29年度 4社、6プロトコール)

(4) 教育研修

- スキルアップ研修等 7回開催

開催日	研修名	内容	会場	出席者数
H29. 6. 17	臨床研究デザインセミナー	統計学のおさらい	CSA レイアップ御幸町ビル (静岡)	57名
H29. 7. 8		事例紹介と演習	プレスタワー (浜松)	39名
H29. 7. 15	西部 CRC の会	実務検討会	CSA レイアップ御幸町ビル (静岡)	50名
H29. 8. 19	臨床研究デザインセミナー	グループワーク		42名
H29. 9. 30	認定 CRC を目指すための講座	スキルアップ講座	ペガサート (静岡)	10名
H30. 1. 13	西部 CRC の会	実務検討会	プレスタワー (浜松)	44名
H30. 2. 17	アドバンストセミナー	領域別治験研修 (整形、呼吸器)	日大三島北口校舎 (三島)	120名

3 富士山麓ビジネスマッチング促進事業

事業費 12,546,000 円

医療機器製造分野への参入を目指す地域企業などを対象に、医療機器メーカーとの取引促進や産学官連携等から創出される製品化シーズと地域企業が有する技術とのビジネスマッチングを支援するため、各社の製品・技術等に関する訪問調査をはじめ、薬機法セミナー、マッチングセッションなどを開催した。

(1) セミナー

- 薬機法セミナー

開催日	内容	会場	参加人数
H29. 6. 8	医療機器開発に必要な基礎知識と最新情報	ファルマバレーセンター	34名

- 医療機器ビジネス参入セミナー

開催日	内容	会場	参加人数
H29. 6. 8	医療機器の製造とビジネス参入のための基本	ファルマバレーセンター	34名
H29. 6. 22	医療機器の規制と品質要求		34名
H29. 6. 22	審査承認の必要要件と流れ		34名
H29. 6. 22	医療機器を輸出するための基本		34名

- (2) 企業訪問
○ 304ヶ所 (延べ件数)

(3) マッチングセッション開催

○ 富士山麓産学官金連携フォーラム 2018 H30. 2. 2 プラサヴェルデ (沼津市) 出展団体 94 団体、来場者 406 名 産学官金交流会 70 名参加
○ 地域イノベーション戦略支援プログラム事業終了報告 H30. 2. 2 参加者 130 名 ・プロジェクトマネージャー事業終了報告 「革新的ながん診療技術の開発と地域企業の医療健康産業参入支援による医療健康産業クラスターの形成」 ・創薬チーム事業報告 「創薬への取り組み、活動実績・成果」 ・機器、介護ロボット機器チーム事業報告 「事業化に向けての活動実績・成果」 基調講演 ・名古屋市立大学病院医療デザインセンター長 「医療の未来をつくるものづくり NEXT」
○ 静岡がんセンター内展示会 H29. 6. 16 24 社展示、来場者 132 名
○ 訓練介護関係機器紹介展示会 H29. 8. 29 ファルマバレーセンター大会議室 展示企業 5 社、招聘商社 5 社
○ メディカルジャパン大阪 H30. 2. 21~23 3 社 12 市町出展、来場者 31, 245 名
○ ファルマバレープロジェクト事業活動啓蒙のため参加 ・ H29. 6. 27~28 富士宮商工フェア参加 ・ H29. 11. 27 長泉町産業祭
○ 企業情報『ふじのくにの宝物 2017』web 更新 2017 年版 436 社紹介

4 医工連携事業化推進事業

事業費 42, 906, 558 円

戦略的基盤技術高度化支援事業の連携支援の事業管理機関として企業・研究機関及び医療機関とコンソーシアムを組み、それぞれの研究開発の事業管理を行った。

<開発テーマ>

- 戦略的基盤技術高度化支援事業 : 微小血管吻合用ステントの開発
: 骨端用プレートの高品質・低コスト成型加工技術の開発

5 静岡がん治験ネットワーク推進事業

事業費 5, 390, 855 円

静岡がんセンターを中心に地域がん診療拠点病院 (10 医療機関) と連携し、がん領域の治験実施体制の強化を図った。

(1) 多施設共同臨床試験の実施

実施した臨床試験	参加医療機関	全体会議
胃がん患者を対象とした多施設共同臨床試験	18 医療機関 (県内 11 機関・県外 7 機関)	H29. 7. 14
進行固形がん患者を対象とした多施設共同臨床試験	10 医療機関 (県内 10 機関)	H29. 8. 29

6 地域イノベーション戦略支援プログラム

事業費 65, 052, 596 円

「革新的ながん診療技術の開発と地域企業の医療健康産業参入による医療健康産業クラスターの形成」をテーマに産学官金連携に取り組んだ。大学等のシーズ調査、地域企業の技術調査、医療現場のニーズ収集、マッチングによる共同研究のコーディネート、共同研究成果の事業化や国内外への販路開拓を推進した。加えて、上記に関連するセミナー及び全国レベルの展示会への出展等も行った。

また、全コーディネーター等で富士山麓地域を中心に企業訪問を行い、企業の保有技術等を確認して平成 29 年度版の「ふじのくにの宝物」に掲載した。本書はマッチングや企業紹介の資料とするとともに、医療機関や国等のニーズに対するシーズ提供に活用した。

なお、地域イノベーション戦略支援プログラムは、H29年度で事業が終了、総合評価は、「A」評価であった。

実施事業

<p><創薬チーム> 静岡がんセンター研究所、創薬探索センターや環境衛生科学研究所等から創薬シーズの情報を収集した。事業化の促進については、静岡がんセンターが推進しているプロジェクトHOPEについて、支援した。更にファルマバレープロジェクトで保有する化合物ライブラリーを、医薬品や健康産業へ参入を目指す地域企業・創薬ベンチャーや静岡県立大学等の研究者に提供する等、化合物の有効活用を行うことで、共同研究及び研究開発の実施に向けたマッチング形成の支援を行った。 また、テアフラビンの抗ノロウイルス効果について製品化に向けた支援を行った。</p>
<p><医療・介護ロボット、機器チーム> 静岡がんセンターほか4病院にアイデアボックスを設置し、臨床現場のニーズ収集を行った。発掘した開発テーマを地域企業に提供すると共に、地域企業が実施する研究開発等を支援した。 内容は、高度な製品開発テーマと短期的に成果が見込める（製品化）テーマとに区分けし、具体的な支援を行い、製品化が近いものや医薬品医療機器等法上の販売品目登録が出来たものもある。 また、医療機器製造分野に進出する企業を支援し、法に基づいた製造業登録や医療機器製造販売業許可を取得した企業複数社が、新規に同分野への参入を果たした。</p>

○ 知のネットワークの構築（地域連携コーディネーター6名、地域連携・技術アドバイザー各1名配置）

・ 推進会議開催

開催日	内容
H29. 4. 4	コーディネーター活動報告、県庁報告
H29. 5. 1	
H29. 6. 5	
H29. 7. 3	
H29. 8. 7	
H29. 9. 4	
H29. 10. 2	
H29. 11. 6	
H29. 12. 4	
H30. 1. 9	
H30. 2. 5	
H30. 3. 5	

・ セミナー開催

回数	開催日	会議名	会場
1	H29. 7. 21	新規胸腔ドレーン固定具開発報告会	静岡がんセンター研究所
2	H29. 10. 6	力覚セミナー	ファルマバレーセンター
3	H30. 2. 2	富士山麓産学官金連携フォーラム	プラサヴェルデ

・ 展示会出展等

回数	開催日	展示会名
1	H29. 10. 11～13	バイオジャパン 2017
2	H29. 12. 6～7	メディカルメッセ

・ 医療機器製造業登録等技術アドバイス

回数	企業名	所在地	内容・成果
1	東海部品工業(株)	沼津市	医療機器製造業等技術支援
2	アジャストポリマー(株)	御殿場市	
3	深澤電工(株)	駿東郡長泉町	
4	アルファ電子(株)	富士市	
5	丸井商事(株)	静岡市清水区	
6	ヤザキ工業	富士市	

- ・H30. 3. 15 地域イノベーション戦略支援プログラム外部評価委員会実施
- ・H30. 3. 20 富士山麓ファルマバレー戦略推進協議会開催

II 収益目的事業

収1 ファルマバレープロジェクト

事業費 228,265 千円 (262,639 千円)

1 創薬探索研究事業

事業費 36,885,488 円

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所等と連携し、静岡発の創薬を目指した創薬探索研究を推進した。

(1) 創薬探索助言委員会 開催日：H29. 6. 30、H30. 3. 1

化合物ライブラリー活用の考え方および共同研究の実施状況について説明を行った。

環衛研および創薬探索センターから活動状況の報告を行った。

新拠点施設について県から説明を行った。

委員からの助言を受けた。

(2) 化合物収集等

化合物収集、共同研究の調整を行った。

ライブラリー化合物収集数 約 120,000 種類

特許申請累計 25 件、登録累計 6 件

(3) 創薬探索研究委託

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所へ医薬品候補化合物の可能性検討や管理を委託した。

(4) 静岡県外の機関との共同研究

静岡県外の研究機関と共同研究を実施した。ファルマバレーセンター所有の化合物ライブラリーから化合物を共同研究先に提供し、新規薬剤候補化合物の探索を進めた。

共同研究先 7 件

2 臨床研究推進事業

事業費 16,421,489 円

医療技術の進歩に寄与する先進医療の開発促進、エビデンスの確立等を図るため、静岡県治験ネットワーク登録医療機関に所属する研究者が主体となり計画、実施する臨床研究に対し支援した。

研究名	研究年度	試験名	使用薬剤	参加医療機関数	参加医師数
市販されている抗がん剤(膀胱がん)に関する多施設共同臨床研究 (JASPAC01 附随研究)	H18 年度 ～	JASPAC01-A1	塩酸ゲムシタビン及び S-1	34 病院	150 名
市販されている抗がん剤(肺がん)に関する多施設共同臨床研究	H23 年度 ～	JIPANG	シスプラチン、ビノレルビン、ペメトレキセド	50 病院	250 名
市販されている抗がん剤(膀胱がん)に関する多施設共同臨床研究	H23 年度 ～	JASPAC04	塩酸ゲムシタビン、S-1、放射線	22 施設	100 名
市販されている抗がん剤(膀胱がん)に関する多施設共同臨床研究	H24 年度 ～	JASPAC05	塩酸ゲムシタビン、S-1、放射線	24 施設	100 名
市販されている抗がん剤(膀胱がん)に関する多施設共同臨床研究	H26 年度 ～	JASPAC06	オキサリプラチン、イリノテカン、フルオロウラシル等	28 病院	60 名
市販されている経腸栄養剤に関する単施設臨床研究	H26 年度 ～	FAST-ERAS Trial	経腸栄養剤	1 病院	2 名
市販されているアミノ酸飲料に関する単施設臨床研究	H26 年度 ～	ABLE	アミノ酸飲料	1 病院	20 名

舌再建術後の機能に関する多施設共同臨床研究	H29年度～	OPERA02	なし	23病院	70名
市販されている抗がん剤（胃がん）に関する単施設臨床研究	H27年度～	TS-1 涙液	TS-1	1病院	10名
市販されている抗がん剤（乳がん）に関する多施設共同臨床研究	H27年度～	EXPECT-study	エリブリン	4病院	50名
市販されている抗がん剤（大腸がん）に関する多施設共同臨床研究	H28年度～	MODURATE	イリノテカン、ベバシズマブ、TAS-102	2病院	20名

3 治験審査委員会運営事業

事業費 49,953,357 円

ファルマバレーセンターが計画している静岡県治験ネットワークの中央治験審査委員会設置に繋げるため、静岡がんセンターがH22年度から設置している企業治験専門の治験審査委員会の運営事務を受託した。

○ 治験審査委員会運営（月1回開催）

回数	開催日	会場	新規審査	継続審査	変更審査
1	H29. 4. 20	トラストシティ・カンファレンス	3件	178件	38件
2	H29. 5. 18		4件	148件	27件
3	H29. 6. 15		1件	159件	35件
4	H29. 7. 20		4件	182件	33件
5	H29. 8. 17		4件	150件	23件
6	H29. 9. 21		3件	182件	47件
7	H29. 10. 19		3件	146件	20件
8	H29. 11. 16		5件	176件	44件
9	H29. 12. 21		4件	174件	28件
10	H30. 1. 18		4件	162件	44件
11	H30. 2. 15		6件	140件	40件
12	H30. 3. 15		4件	182件	45件
計			45件	1,979件	413件

*その他審査案件数：逸脱審査7件、迅速審査397件、保留審査0件、終了等報告73件

4 静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業

事業費 120,403,370 円

ファルマバレープロジェクトの拠点となる「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理者として、施設の管理業務を行った。

(1) 施設管理事業

- 施設の維持、管理業務として、「施設警備」「設備の保守・点検」「日常清掃」「衛生関係」「植栽管理」等を行った。
- 施設維持管理、危機管理の観点から入居企業・県・委託業者との定例会議を行った。

施設管理会議

H29. 4. 20	施設点検日程・センターからのお知らせ 他	PVC大会議室	
H29. 5. 18			
H29. 6. 15			
H29. 7. 20			
H29. 9. 21			施設点検日程・センターからのお知らせ・県からの連絡 他
H29. 10. 19			
H29. 11. 16			施設点検日程・センターからのお知らせ 他
H29. 12. 21			
H30. 1. 18			施設点検日程・防災訓練について 他
H30. 3. 15			消防訓練実施報告について 他

(2) 入居者支援事業

- ・ 施設に入居する企業などの研究開発事業に対し、リーディングパートナー企業およびオフィス入居企業と連携して、担当コーディネーターを中心にきめ細かいサポートを実施した。

支援連絡会

H29. 4. 20	入居企業からの連絡 他	PVC大会議室
H29. 5. 18	(株)テクノサイエンスからのご紹介	
H29. 6. 15	入居企業等からの情報提供	
H29. 7. 20	入居企業からの情報提供	
H29. 9. 21	テルモ(株)MEセンターからのお知らせ 他	
H29.10.19	静岡がんセンターとの意見交換について 他	
H29.11.16	入居企業からの情報提供 他	
H29.12.21	一般財団法人静岡県生活科学検査センターから情報提供他	
H30. 1. 18	富士山麓産学官金連携フォーラム2018について	
H30. 3. 15	台湾 ITRI 東京事務所情報提供	

(3) 連携・交流事業

- ・ 入居企業間、入居企業と医療関係者、地域企業等との交流イベントの企画や施設を活用したセミナー・講演会等の開催により、アイデア創出やマッチングの場の提供をした。

H29. 7. 24	ランチョンセミナー開催	62名
H29. 8. 19	地域との連携交流事業実施	105名
H29.11.15	知的財産権セミナー開催	60名

(4) 貸館事業

- ・ 医療健康分野の人材育成や産業振興など企業、産業支援機関等の利用を想定し、広く会議室を貸出した。

(5) 広報

- ・ 静岡県医療健康産業研究開発センターのPRと貸し会議室の利用促進のため、パンフレット、チラシ、ホームページ等を作成した。